

IBFCSM.CEDP.v2026-08-29.q54

試験コード:	CEDP
試験名称:	Certified Emergency and Disaster Professional
認定資格:	IBFCSM
無料問題数:	54
バージョン:	v2026-08-29
アクセス数:	104
ページビュー数:	540
https://www.jpnpdf.com/IBFCSM.CEDP.v2026-08-29.q54-mondaishu.html	

最新問題: 1

事業継続計画の重点はどこに置かれるべきでしょうか？

- A. 組織が重要な機能を実行する方法について指導する
- B. リスクとコストを考慮した適切な意思決定を確実に行う
- C. リーダーは業務維持に関する決定を優先する

Answer: ([解答を表示する](#))

事業継続計画 (COOP) の最も重要かつ絶対的な焦点は、混乱中および混乱後に組織が重要な機能を実行する方法を導くロードマップを提供することです。5標準的な緊急オペレーション計画 (EOP) が危険に対する「外部」対応に焦点を当てているのに対し、COOPは組織自体の「内部」回復力。連邦継続指令1 (FCD 1) によれば、COOPの目標は、国家必須機能 (NEF) と主要任務必須機能 (PMEF) が中断なく継続されることを保証することです。効果的なCOOP計画では、組織の必須機能 (12時間以上停止すると任務に重大な影響が出る活動) を特定します。6次に、計画では、これらの機能をサポートするために必要なリソースを詳細に説明し、COOPの「4つの柱」として分類します。

- * 人員：任務遂行に不可欠な緊急避難グループ (ERG) メンバーを特定する。
- * 設備：主要建物にアクセスできない場合に備え、代替の運用拠点を指定する。
- * 通信：リモートワークをサポートするために、冗長システムが利用可能であることを確認する。
- * 重要記録：業務再開に必要なデータおよび法的文書を保護する。

CEDP専門家にとって、COOPは事業継続の本質です。洪水、火災、サイバー攻撃などによって組織の「中枢」が破壊されたとしても、組織が公共サービスを継続できることを保証します。オプションBとCはCOOPをサポートする管理業務ですが、計画自体の「焦点」ではありません。焦点は運用面にあり、組織の構造的完全性を維持するための「ハウツー」マニュアルです。COOPは、重要な機能を優先することで、主要な物理的災害への対応中に、地域社会が二次的な「サービス災害」(§11の緊急通報や給与支払いの停止など) に見舞われないようにします。

最新問題: 2

災害被災者の除染作業を行う個人は、初期対応者レベルのHAZWOPER訓練を受ける必要があります。必要なOSHA訓練時間の最低数は何時間ですか？

- A. 4時間
- B. 8時間（B時間」から修正）
- C. 16時間
- D. 24時間

Answer: ([解答を表示する](#))

労働安全衛生局（OSHA）の基準29 CFR 1910.120(q)(6)(ii)に基づき、近隣の人、財産、または環境を保護する目的で、有害物質の放出または放出の可能性に対応する初期対応者は、ファーストレスポンドーオペレーション（FRO）レベルに分類されます。災害被害者の除染を担当する者を含め、これらの者に対して、OSHAは最低8時間の初期訓練、または客観的に能力を証明できる十分な経験を義務付けています。

ファーストレスポンドーオペレーションレベルは、アウェアネスレベル（最低時間数の規定なし）およびテクニシャンレベル（24時間必要）とは異なります。FROレベルの対応者は、実際に放出を阻止しようとせず、防御的な対応を行うよう訓練されています。主な業務は、安全な距離から放出物を封じ込め、拡散を防ぎ、被ばくを防止することです。これには、除染通路の設置と運用も含まれます。訓練では、雇用主の緊急時対応計画の実施、基本的な危険およびリスク評価手法に関する知識、ファーストレスポンドーオペレーションレベルに提供される適切な個人用保護具（PPE）の選択と使用能力を網羅する必要があります。

さらに、IBFCSM CEDPガイドラインによれば、医療施設や医療従事者の二次汚染を防ぐためには、除染プロセス中の安全確保が最重要事項です。この8時間のトレーニングにより、対応者は様々な化学物質に関連する身体的および健康上の危険性、ならびに「粗除染」と「技術除染」の手順を理解できるようになります。最初の8時間要件を満たした後も、OSHAは、その能力レベルを維持するために、十分な内容と期間の年次再教育トレーニングを義務付けています。被災者の除染に関わる人員にこの最低限のトレーニングを提供しないことは、重大な規制違反であり、緊急対応チームの安全に対する直接的な脅威となります。

最新問題: 3

医療対応の調整は、どのような災害管理プロセスに関係するのでしょうか？

- A. コラボレーション計画
- B. 医療の回復力
- C. 情報共有

Answer: ([解答を表示する](#))

医療需要急増時の対応調整は、医療の回復力の重要な要素です。医療需要急増とは、通常の医療インフラの限界を超える事態が発生した際に、医療システムが適切な医療評価とケアを提供できる能力を指します。7この文脈における回復力とは、システムが多数の死傷者が

出る事態やパンデミックの衝撃を「吸収」し、(例えば、危機時のケア基準を用いることで)業務を適応させ、迅速にベースライン状態に回復できる能力と定義されます。

MSCC (医療対応能力対応力)ハンドブックでは、サージ対応は階層的なフレームワークを通じて調整されます。8このフレームワークにより、個々の病院 (ティア1)が地域の医療連合 (ティア2)に統合され、管轄区域のインシデント管理 (ティア3)によってサポートされます。この多層的な調整が「システムの回復力」を生み出します。ある施設が機能不全に陥っても、地域システムが患者の負荷をうまく再分配し、救命医療を維持できれば、医療システム全体が回復力を発揮したことになります。

認定緊急災害専門家 (CEDP)にとって、医療需要の急増は、医療システムの設計に対する究極の試練です。情報共有 (オプションC)と連携 (オプションA)は需要急増を管理するために使用される「ツール」ですが、医療システムの回復力は、より広範な「プロセス」または「状態」として扱われます。回復力のある医療システムとは、予備のベッド、訓練された「予備」スタッフ、備蓄された物資など、事前に計画された需要急増への対応能力を備え、限界まで負荷がかかった場合でも機能し続けることができるシステムです。これにより、災害時に医療システム自体が被害を受けることなく、規律正しく調整された需要急増管理を通じて不必要な死亡や罹患を防ぐ、安定した地域社会の生命線であり続けることが保証されます。

最新問題: 4

組織がサイバー攻撃を受けた後、最も優先順位の低い業務は何であるべきか？

- A. サイバー関連の事象またはインシデントの範囲と影響を定義する
- B. 影響を受けたシステムを隔離し、できるだけ早くサービスを復旧する
- C. 明らかな攻撃を適切な地元の法執行機関に報告する

Answer: C (メッセージを残す)

サイバー攻撃直後の対応は、NIST特別刊行物800-61「コンピュータセキュリティインシデント対応ガイド」で定義されている「封じ込め、駆除、復旧」サイクルに基づいて行われます。この枠組みの中で、地元の法執行機関への報告 (オプションC)は、直近の技術的対応に比べて運用上の優先順位が最も低いとされています。報告は法規制遵守上不可欠なステップではありますが、マルウェアの拡散を阻止したり、重要な業務機能を復旧させたりするものではありません。

最優先事項は常に、範囲と影響の定義 (オプションA)です。なぜなら、特定していないものは修復できないからです。これには、どのシステムが侵害されているか、攻撃が継続中かどうかを判断するためのフォレンジック分析が含まれます。次に重要なのは、影響を受けたシステムの隔離 (オプションB)です。これは、「デジタル世界における「生命の安全」」に相当するものです。感染したサーバーやネットワークの一部を切断することで、インシデント対応チームは攻撃者の「横方向の移動」を防ぎ、残りの資産を保護し、サービスの復旧に備えます。

IBFCSCM CEDPの知識体系によれば、緊急事態管理者は以下を区別する必要がある。

技術的対応」と「捜査支援」。法執行機関の主な目的は訴追のための証拠保全であり、これは組織が迅速なサービス復旧を必要とする場合と相反することがあります。そのため、適切に設計されたインシデント対応計画（IRP）では、技術チームがまず「患者」（ネットワーク）を安定させることが保証されます。脅威が無力化され、影響が理解されて初めて、組織は外部への報告や法的措置にリソースを移行すべきです。ほとんどのローカルサイバーインシデントでは、連邦機関（FBIやCISAなど）がローカルの法執行機関よりも重要であることが多く、対応のストレスの高い実行段階では「ローカル」報告の優先順位がさらに低下します。

最新問題: 5

救急隊員は、ジョプリンの竜巻で負傷した被害者への初期対応を通して、どのようなことを学んだのか？

A. 適切に設計されたICSは、災害現場での混乱を軽減するのに貢献した。

B. トリアージと医療処置は、被害者の搬送よりも効果的になった。

C. 様々な問題への適応が状況の流動性を促進するのに役立った

Answer: C (メッセージを残す)

2011年5月にミズーリ州ジョプリンで発生した竜巻への対応は、戦術的柔軟性の必要性に関するIBFCSM CEDPカリキュラムの基礎的な事例研究となっている。NISTとFEMAの事後報告書によると、EMSと初期対応者が学んだ主な教訓は、さまざまな問題への適応が状況の流動性を促進するのに役立ったということである。EF-5竜巻の規模の大きさは、通常の通信をほぼ完全に崩壊させ、市内の主要病院（セント・ジョンズ地域医療センター）を破壊し、大量の瓦礫で主要な輸送ルートを遮断した。

この混沌とした状況下では、事前に計画された手順に厳密に従うことは不可能となった。救急隊員は、瓦礫が散乱した道路を救急車が走行できない場合、ピックアップトラックや平床トレーラーなどの非従来型の輸送車両を活用することで対応せざるを得なかった。指定された施設が利用できなくなったため、駐車場や金物店などに臨時の負傷者収容所を設置した。このような「柔軟性」は計画不足によるものではなく、むしろ高いレベルの運用上の回復力によるものであり、対応者は任務の意図（人命の安全）を理解し、物理的な障害を克服するために方法を適応させたのである。

適切に設計されたICS（オプションA）は常に目標ではあるが、ジョプリンの報告書によると、最初の数時間は主要なEOCと無線塔の喪失により、深刻な「指揮の霧」に見舞われた。現場職員による「ボトムアップ」型の適応が事態を安定させた。選択肢Bは誤りである。ジョプリンでは、主要病院が機能不全に陥った後、近隣の町の二次医療施設への迅速な搬送が救命の最優先事項となった。ジョプリンの事例は、壊滅的な「ブラックスワン」事象において、理想的なシステムが機能しなくなった場合、職員が革新的な発想を持ち、対面での連絡を通じて意思疎通を図り、利用可能な地域資源を活用する能力こそが、対応の成功を保証するものであることを証明した。

最新問題: 6

緊急対応活動が開始された後、優先順位が低くなるサプライチェーンの問題は何でしょうか？

- A. 在庫管理
- B. 供給リスク評価
- C. インターフェース機能

Answer: ([解答を表示する](#))

緊急事態管理のライフサイクルでは、インシデントの現在のフェーズに基づいてさまざまなタスクの優先順位が付けられます。サプライリスク評価 オプションB)は、「定常状態」または準備活動です。これには、災害が発生する前に、単一供給元や地理的に集中した倉庫を特定するなど、サプライチェーンの脆弱性を積極的に分析することが含まれます。緊急対応活動が開始されると（対応」フェーズ）、評価の時間は過ぎ、焦点は直ちにサプライチェーンの戦術的実行に移さなければなりません。

活動中の対応においては、在庫管理 オプションA)が最優先事項となります。緊急事態管理者は、現在手元にある物資（水食料、医薬品、燃料）の種類、保管場所、消費速度（消費率」）を正確に把握する必要があります。在庫管理を怠ると、深刻な不足や無駄な余剰につながります。同様に、対応中は連携機能 オプションC)も不可欠です。これには、物資の発注、追跡、適切な災害対策本部への配送を確実にを行うため、物流部門、財務部門、外部ベンダー間の調整が含まれます。

FEMAのロジスティクス管理マニュアルによると、「計画」から「運用」への移行には、分析的思考から行動指向型管理への転換が必要です。ハリケーン対応中にサプライリスク評価を実施することは、救命物資の「ラストマイル」配送に集中すべき人員の非効率的な利用となります。CEDPの専門家にとって、この転換を理解することは、効果的なインシデント行動計画にとって不可欠です。リスク評価は、初期在庫レベルとベンダー契約の基礎となりますが、最初の911通報が行われると「静的」な文書となります。運用期間中は、物資の物理的な流れを動的に監視する必要があるため、分析的評価は「復旧」または「事後」フェーズが始まるまで優先順位が低く、その時点で新たな教訓に基づいて評価が更新されます。

最新問題: 7

ブランチと呼ばれる計画概念の活用は、どのような場合に適切となるのでしょうか？

- A. 実現可能なバリエーションの可能性を評価する
- B. 主要な必須付属書類オプションの文書化
- C. 順方向計画と逆方向計画の両方を使用する必要がある

Answer: ([解答を表示する](#))

緊急時計画および国家計画システムにおいて、ブランチは「もしも」のシナリオを作成することで不確実性に対処するために使用される戦略的ツールです。ブランチは、事態の進行における実行可能な変動に対応するために作成された、主要計画のバリエーションである緊急時対応計画として定義されます。これにより、計画担当者は現在の状況を見て、「主要計画は東への避難だが、橋が崩落した場合はこのブランチ（プランB)に切り替える」と言うことができます。ブランチの使用は、根本的に異なる資源配分を必要とする複数の潜在的

な結果がある場合に適切です。たとえば、ハリケーンが沿岸に上陸すると予測されている場合、主要計画はカテゴリ2の攻撃に対応するかもしれませんが、しかし、計画担当者は、はるかに広い避難区域と異なる医療対応能力を必要とするカテゴリ5の攻撃の可能性を評価するための「ブランチ」を作成します。

これは、フェーズが完了した後に発生するシークエルとは異なります。ブランチは、「if/then」トリガーに応じて、同時に、または代替として発生します。

CEDPの専門家にとって、分岐はプロアクティブなインシデント管理の本質です。これにより、インシデントコマンドは状況の変化に決して不意を突かれることがなくなります。また、環境条件が変化しても目標が達成可能であることを保証することで、目標管理を支援します。

オプションB（付属文書「プッシュ」）は文書の構成を指し、オプションC（順方向／逆方向計画）はタイムライン作成の方法論を指します。オプションAのみが、山火事、化学物質の拡散、あるいは「現場の真実」が急速に変化するような、不確実性の高い事象を管理するために必要な柔軟性を提供する、支部の「緊急時対応」という性質を正しく認識しています。

最新問題: 8

どのようなツールが、潜在的なリスク軽減策の特定を妨げる可能性があるか？

A. ハザードGIS分析

B. ハザードマップ

C. 危険チェックリスト

Answer: C (メッセージを残す)

災害対策とリスク評価の分野では、ハザードチェックリスト（オプションC）は、しばしば「視野狭窄」を助長するため、潜在的な軽減ハザードの特定を意図せず妨げる可能性があります。

「チェックボックスにチェックを入れる」という考え方。3チェックリストは標準的な作業が完了していることを確認するのに非常に優れていますが、チェックリストの作成者が含めようと考えていた内容によって本質的に制限されます。危険が新たに発生している場合、現場固有のもの、または従来とは異なるものの場合、リストに載っていない可能性があり、評価者がそれを完全に無視してしまう可能性があります。

GIS（地理情報システム）分析（オプションA）やハザードマップ（オプションB）などの高度なツールは動的です。4これらのツールにより、緊急事態管理者はさまざまな脅威と重要インフラとの空間的な関係を視覚化できます。5たとえば、GISレイヤーは、洪水区域が老朽化した変電所と重なる場所を正確に示すことができます。これらのツールは、探索者が「全体像」を把握し、単純なリストでは決して捉えられない連鎖的な障害を特定することを促します。

FEMAのCPG 201（脅威と危険の特定とリスク評価）によると、危険特定プロセスは「あらゆる危険」の調査であるべきです。チェックリストは静的で歴史的な傾向があり、気候変動、都市のスプロール現象、技術の進化によって将来起こりうる事態ではなく、過去に何が起こったかに焦点を当てています。CEDPの専門家にとって、チェックリストへの過度の依存

は誤った安心感につながる可能性があります。危険（上流に建設された新しい化学プラントなど）が事前に印刷されたチェックリストにない場合、緩和計画段階で見落とされる可能性があります。したがって、チェックリストは保守や日常的な安全検査では役割を果たしますが、リスク評価プロセスと比較すると、制限的な「閉鎖システム」とみなされます。専門的なハザードマップ作成と空間分析のための「オープンシステム」。

最新問題: 9

長期にわたる災害発生時、法執行機関はどのような任務を停止するだろうか？

- A. 災害現場の安全確保
- B. 大規模搜索救助
- C. インフラセキュリティ

Answer: ([解答を表示する](#))

災害の初期段階では、法執行官が現場に最初に到着し、大規模搜索救助を含む人命救助に必要なあらゆる任務を遂行することが多い。3しかし、災害が長期化すると、法執行機関は通常、これらの特殊な救助活動を中止し、FEMA都市搜索救助 (US&R) タスクフォースや州兵部隊などの専門の搜索救助 (SAR) 部隊に移行させる。これにより、警察は公共の秩序、安全、交通規制の維持という本来の任務に戻ることができる。

災害時の警察の標準作業手順書 (SOP) によれば、警察の主な役割は「災害現場の安全確保」(オプションA)と「インフラの安全確保」(オプションB)を提供することである。これには、避難場所での略奪の防止、浄水場や変電所などの重要施設の保護、危険区域への無許可者の侵入を防ぐための「境界管理」などが含まれる。これらの安全確保機能は災害対応全体の成功に不可欠であるが、法執行機関の職員が技術的な搜索救助活動に追われている場合、しばしばその機能が損なわれる。

CEDPの知識体系において、この移行は「資源管理」の一部です。法執行機関の職員は、倒壊した建物の補強や高所でのロープ救助など、大規模救助における高リスクな技術的側面に対応するための装備や訓練を一般的に受けていません。長期にわたる災害発生時に大規模搜索救助活動を専門機関に委ねることで、現場指揮本部は最も適任な人員が最も危険な任務を遂行することを保証し、警察は安全な復旧環境に必要な「市民の安定」に専念することができます。

最新問題: 10

圧縮ガスの安全性に関する回答のうち、不正確なものはどれですか？

- A. シリンダーは110°Fを超える温度で保管しないでください
- B. 保管する際は、バルブ保護キャップを回してから固定してください。
- C. 石鹼水を使用してシリンダーの漏れを疑う方法

Answer: A ([メッセージを残す](#))

圧縮ガスボンベの標準安全規制 (OSHA 29 CFRに準拠) の文脈において 1910.101、NFPA 55、およびCGA (圧縮ガス協会) ガイドライン - シリンダーは

「110°Fを超える温度で保管しないでください」オプションA)は不正確です。なぜなら、安全に保管できる最高温度は実際には125°F (51.7°C)だからです。110°Fはより安全で保守的な基準値ではありますが、規制や業界標準の「最高」ではありません。シリンダーは安全マージンを考慮して設計されていますが、125°Fを超える温度にさらされると内部圧力が大幅に上昇し、圧力逃がし装置 (PRD) の作動やシリンダーの構造的な大惨事につながる可能性があります。

オプションBは、標準的な安全手順について説明しています。シリンダーを輸送または保管する前に、バルブ保護キャップをシリンダーにしっかりと手で締め付ける必要があります。このキャップは、シリンダーの中で最も脆弱な部分であるバルブが、シリンダーが落下した際に切断されるのを防ぎます。切断されると、シリンダーは高速の飛翔体となってしまいます。オプションCは、石鹼水漏れテストについて説明しています。これは、接続部やバルブからの漏れを検出するための最も一般的で推奨されている現場方法です。水と無脂肪石鹼の溶液を塗布することで、対応者は泡の発生を通して漏れを視覚的に確認できます。

CEDP資格保有者にとって、シリンダー保管の技術仕様を理解することは、危険物管理において極めて重要です。保管温度の上限を誤ると、特に屋外保管場所や高温地帯の工業用地では、不適切な施設設計につながる可能性があります。シリンダーを125°F (約2°C) 以下で保管し、チェーンで直立させて保管し、保護キャップを装着することは、安全な圧縮ガス保管プログラムの3つの必須要素です。

最新問題: 11

机上演習を実施することの重要性を最もよく表しているのは、どの選択肢でしょうか？

- A. 訓練や演習では十分に再現できないシナリオに対処する
- B. 相互援助対応の責任と優先順位を調整・比較する
- C. 地域対応機関間のコミュニケーションと連携を改善する

Answer: C (メッセージを残す)

国土安全保障演習評価プログラム (HSEEP) の定義によれば、テーブルトップ演習 (TTX) とは、主要な担当者がストレスの少ない非公式な環境で集まり、緊急事態におけるそれぞれの役割と特定の状況への対応について話し合う、議論に基づくイベントである。25最も重要な成果は、

TTXの「重要性」は、地域対応機関間のコミュニケーションと連携を改善することにある。

26

机上演習は、意思決定プロセスと計画の「連携」に焦点を当てている点で独特である。

27彼らは、さまざまな部門の責任者（消防警察、公共事業、民間セクターのパートナー）がテーブルを囲んで座り、実際の事件のプレッシャーの前に「誰が何をするか」を明確にするための安全な環境を提供します。

28このプロセスは、以下のことに役立ちます。

* 役割を明確にする：誰がインシデントコマンダーなのか、誰が広報機能を管理するのかについて混乱がないことを確認する。

* ギャップの特定 2つの機関が同じ無線チャンネルまたは同じ待機場所を使用することを前提としているかどうかを確認します。

* 関係性を構築する：現実世界の災害時に信頼を得るために必要な「社会的資本」を確立する。

オプションAは部分的に正しいと言えます。机上演習では、実地訓練には危険すぎる壊滅的なシナリオ（核爆発など）に対応できますが、その主な価値は調整面にあります。CEDPカリキュラムでは、TTXは「計画の作成」と「本格的な演習の実施」をつなぐ重要な架け橋と位置づけられています。地域社会が机上演習で「紙面上」での対応をうまく調整できない場合、実地訓練では必ず失敗するでしょう。したがって、TTXは、すべての機関が国家インシデント管理システム（NIMS）と地域の緊急オペレーション計画（EOP）に沿っていることを保証する、基礎的な「連携」ツールとして機能します。

最新問題: 12

法医学分析は、緊急事態管理のどの任務分野の一部となるのでしょうか？

- A. 計画
- B. 予防
- C. 応答

Answer: B (メッセージを残す)

国家準備目標において、鑑識と犯人特定は、予防任務領域における特定のコア能力として位置づけられています。予防任務領域は、差し迫った、脅威にさらされている、または実際に発生したテロ行為を回避、防止、または阻止するために必要な能力に焦点を当てています。この文脈における鑑識分析は、脅威の実行犯を特定し、危険物質（生物兵器や化学兵器など）の発生源を突き止め、計画が実行される前に阻止するために必要な証拠を提供するために使用されます。

法医学的手法は、対応フェーズ（多数の死傷者が出る事件で犠牲者を特定するため）や復旧フェーズ（工学的故障の根本原因を理解するため）でも使用されますが、連邦政府は国家安全保障上の役割から、「法医学と原因究明」を予防の範疇に明確に位置付けています。技術データと物的証拠を分析することで、情報機関や法執行機関は、脅威を特定の国家または非国家主体に「帰属」させること。この帰属は強力な抑止力となり、将来の攻撃を防ぐための前提条件となる。

認定緊急災害専門家（CEDP）にとって、予防任務領域における鑑識の役割を理解することは、官民連携において極めて重要です。化学工場やサイバーセキュリティ企業など、多くの民間企業は、鑑識分析に使用される生データを提供する「センサー」としての役割を果たしています。地方の緊急事態管理者は、FBIや国家拡散防止センターなどの連邦機関と協力することで、国家の「予防」シールドの構築に貢献しています。この能力により、国土安全保障機関は災害への対応だけでなく、危害を加えようとする者の計画を事前に阻止し、国民を守るという第一かつ最も重要な任務を果たすことができるようになります。

最新問題: 13

災害対応者の安全と健康に関する能力は、どの監督機関の管轄下に置かれるのか？

A. ASPR

B. DHS

C. FEMA

Answer: C ([メッセージを残す](#))

国家防災体制において、対応者の安全と健康は、FEMAの国家防災目標における32のコア能力の1つとして正式に指定されています。国土安全保障省 (DHS) オプションB)が包括的な政策を統括しますが、災害対応要員に対するこれらの能力の実際の管理、訓練、および運用上の監督はFEMAの管轄となります。これには、15の緊急支援機能 (ESF)の安全プロトコルの開発、および国内防災センター (CDP)と緊急事態管理研究所 (EMI)で提供される専門的な訓練が含まれます。

「対応者の安全と健康」機能は、災害現場に存在する無数の物理的、化学的、心理的危険から緊急対応要員を保護することに重点を置いています。FEMAは、NIOSHやOSHAなどの機関と連携し、対応要員が適切な個人用保護具 (PPE)を装備し、健康状態のモニタリング (医療モニタリング 監視プログラム MMS)など)を受け、必要な予防接種や災害後のメンタルヘルス支援を受けられるようにしています。

CEDP専門家にとって、FEMAが主導するこの能力は、「対応要員を守る 盾」です。これにより、対応要員の中から新たな犠牲者が出ることを防ぎます。大規模な建造物の倒壊やCBRN (化学生物 放射性物質 核物質)の放出といった壊滅的な事態が発生した場合、FEMAの安全担当官は安全区域の設定と「滞在時間」制限の遵守を徹底する責任を負います。連邦政府は、この能力をインシデント・コマンド・システム (ICS)を管理する組織と同じ組織の下に配置することで、あらゆる指揮系統に安全対策が組み込まれるようにしています。この監督体制により、長期にわたる災害の間、対応部隊が健全な状態を維持し、あらゆる任務の成功に不可欠な「対応要員の安全第一」という基本原則が確実に守られます。

最新問題: 14

職場において最も頻繁に発生する有害化学物質への曝露の種類は何ですか？

A. 吸収

B. 吸入

C. 摂取

Answer: ([解答を表示する](#))

職場や災害対応時において、吸入は有害化学物質への曝露経路として最も頻繁かつ一般的なものです。4これは、いくつかの生理学的要因および環境的要因によるものです。第一に、人間の呼吸器系は表面積が非常に大きく (肺胞では約75平方メートル)、毒素が血流に入るための非常に効率的な経路となっています。第二に、人間は絶えず呼吸しなければならず、標準的な勤務日には10,000リットル以上の空気を吸い込むことが多く、空気中の有害物質の「摂取」は継続的かつ無意識的に行われます。

職場における有害化学物質は、蒸気（溶剤などの液体の蒸発によるもの）、ガス（一酸化炭素など）、ミスト（噴霧作業によるもの）、微粒子（粉塵やヒュームなど）として空気中に放出されることが多い。

5皮膚との物理的な接触を必要とする吸収（オプションA）や、汚染された手で食事をするなど通常不衛生な状態を必要とする摂取（オプションC）とは異なり、吸入は作業者が手や衣服に注意していても、その場所が適切に換気されていない場合に発生する可能性があります。

OSHAとNIOSHのデータによると、吸入は許容暴露限界（REL）と閾値限界値（TLV）を設定する主な要因です。CEDPの専門家にとって、これは呼吸保護と工学的制御（排気ファンやスクラバーなど）が作業員の安全プログラムで最も重要な要素であることを意味します。建物の倒壊や化学薬品倉庫の火災などの災害シナリオでは、空気はすぐに複雑な毒物のカクテルで満たされます。吸入は最も頻繁な暴露経路であるため、未知の「雰囲気での対応者のデフォルトの姿勢は、空気を監視および確認できるまで常にSCBAを使用することです。

「私たちが呼吸する空気」が中毒になる可能性が最も高い方法であることを理解することで、対応者の最も脆弱で高容量の暴露ポイントを保護するために安全の優先順位が正しく調整されることが保証されます。

最新問題: 15

緊急時における上下水道システムの管理責任は、どの機関が負うのでしょうか？

- A. 内務省
- B. 米国農務省
- C. 環境保護庁

Answer: ([解答を表示する](#))

国土安全保障大統領指令7（HSPD-7）および国家対応枠組み（NRF）で定められているように、環境保護庁（EPA）は、水および廃水システム部門の指定部門別機関（SSA）です。この部門は、国の安全保障、経済、および公衆衛生に不可欠な16の重要インフラ部門の1つです。10緊急事態の間、EPAの責任は、これらのシステムの保護と迅速な復旧を調整することです。

EPAは災害対応においていくつかの重要な役割を担っている。11

* 技術支援：水処理汚染物質の特定、インフラ修復に関する専門知識の提供。12

* 実験室支援：環境対応実験室ネットワーク（ERLN）を利用して、水サンプル中の化学物質または生物剤を分析する。13

* 規制監督：緊急措置（煮沸勧告など）が安全飲料水法（SDWA）に準拠していることを確認する。

USDA（オプションB）は農村地域（通常住民1万人未満）の水道システムを支援していますが、国全体のセクター全体の責任はEPAにあります。CEDP専門家にとって、EPAは緊急支援機能#10（石油および危険物）の主要な連邦パートナーであり、ESF #3（公共事業およびエンジニアリング）の主要な支援者です。EPAは、水道事業者がリスクを評価し、脅威情報を共有するのに役立つ水健康経済分析ツール（WHEAT）やWaterISACなどのツールを管理し

ています。14このセクターを主導することで、EPAは最も重要な「コミュニティのライフライン」の1つである飲料水が可能な限り迅速に復旧し、主要な災害の後に二次的な公衆衛生危機を防ぐことを保証しています。

最新問題: 16

【米国】：米国の災害管理活動は、どのような権限モデルに準拠していますか？

- A. 協調的
- B. 垂直
- C. 官僚的

Answer: B ([メッセージを残す](#))

【米国】：米国の災害管理は、国家災害管理システム (NIMS) および災害指揮システム (ICS) に規定されているように、垂直的権限モデルを採用しています。このモデルは、明確な指揮系統とトップダウンの報告構造によって定義されます。すべての災害において、階層構造の最上位には単一の災害指揮官 (IC) またはICとして機能する統合指揮グループ) がいます。命令、目標、戦略的優先事項は、ICからセクションチーフを経て現場の戦術要員へと垂直に下方へと伝達されます。

垂直型組織は、説明責任と指揮系統の統一にとって不可欠です。これにより、対応に関わるすべての個人が必ず一人の上司に報告するようになり、「調整されている」ものの階層構造のないシステム (オプションA) や、過度に「官僚的」なシステム (オプションC) でよく発生する、矛盾する命令による混乱を防ぐことができます。

対応には多くの機関の連携が必要となるが、人命安全に関する意思決定権限は、迅速性と効率性を確保するため、垂直的な体制で維持される。事態が拡大するにつれて、管理可能な統制範囲を維持するために、監督階層 (支部課、グループ) がモジュール式に拡張されるが、指揮系統の垂直的な整合性は損なわれない。

CEDカリキュラムによると、この垂直構造こそが「相互運用性」を可能にするものだという。米国全土の管轄区域が同じ垂直型ICSモデルを採用しているため、カリフォルニア州の消防士がフロリダ州の垂直構造に報告すれば、自分が誰のために働いているのか、現場の責任者は誰なのかを即座に理解できる。

この「準軍事組織」的な構造は、分散型または水平型の意思決定では遅延や人命へのリスク増大につながるような、重大な結果を招く可能性のある、急速に変化する事態を管理するための実績のある方法である。

有効な **CEDP** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい CEDP 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **CEDP** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com CEDP 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com CEDP 問題

集をゲットする人はこちら: <https://www.goshiken.com/IBFCSM/CEDP-mondaishu.html>
(14830%OFF問題集溶と正解付きで 30%w特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: 17

FEMAの中核能力で示されている保護の目標を最も適切に表しているのは、どの選択肢でしょうか？

- A. テロ行為の脅威または実際のテロ行為を回避または阻止すること
- B. 脅威を阻止することにより、生命と財産の損失を軽減する
- C. テロや自然災害から国土を守る

Answer: C (メッセージを残す)

国家準備目標および国家保護枠組みによれば、保護任務領域の目標は、テロや自然災害から国土を守ることである。5この任務領域は、テロ行為や人為的または自然災害から国を守るために必要な能力に焦点を当てている。これは、緊急事態管理に対するコミュニティ全体のアプローチを構成する5つの任務領域（予防保護、緩和、対応、復旧）の1つである。

「予防」と「保護」の区別は、CEDPカリキュラムにおける一般的な試験項目の一つである。予防（オプションA）は、脅威または実際のテロ行為を回避、防止、または阻止するために必要な能力を具体的に指します。6一方、保護はより広範で防御的なものです。サイバーセキュリティ、インフラ保護、国境警備などの「定常状態」の活動が含まれます。予防は敵対者に焦点を当てていますが、保護はコミュニティをあらゆる危険から守る資産とシステムに焦点を当てています。

オプションBは、緩和と対応のハイブリッドについて説明しています。保護目標の正式な定義では、「確保」と「保護」が強調されています。保護ミッション領域内の主要なコア機能には、物理的保護措置、サイバーセキュリティ、アクセス制御/本人確認が含まれます。7保護の目標を達成することで、緊急事態管理者は重要インフラ（電力網や水道システムなど）の脆弱性を低減し、コミュニティ全体の回復力を高めます。これにより、脅威が顕在化した場合でも、コミュニティシステムの「強化された」性質により、小さな事件が国家的な災害に発展するのを防ぐことができます。

最新問題: 18

障害のある訪問者のための避難計画の策定を義務付ける法律は何ですか？

- A. スタッフォード救済緊急援助法
- B. 防災法
- C. アメリカ障害者法

Answer: (解答を表示する)

アメリカ障害者法（ADA）は、訪問者を含む障害者のための避難計画の策定とアクセシビリティに関する配慮を義務付ける主要な法律です。

1具体的には、タイトルII（州および地方自治体のサービスを対象とする）およびタイトルIII（公共施設および商業施設を対象とする）の下では、事業体はプログラムおよびサービス

への「平等なアクセス」を提供することが法的に義務付けられています。2緊急事態管理の文脈では、この「アクセス」は施設の安全と避難にまで及びます。

移動、感覚、認知に障害のある訪問者など、障がいのある訪問者に対する具体的な対応策を講じないことは、公民権の侵害にあたります。司法省 (DOJ) と全米障害者評議会は、緊急時対応計画は存在するだけでなく、効果的でなければならないと強調しています。これには、警報システム (アラーム) が音声と視覚の両方で確認できること、火災や災害時にエレベーターが停止した場合に階段を使用できない人のための「避難場所」が指定されていることなどが含まれます。

スタッフォード法 (オプションA) は連邦政府による災害支援の方法を規定し、災害軽減法 (オプションB) は災害前の危険軽減に焦点を当てていますが、どちらもADAに規定されている民間または地方公共の建物に対する建築上または手順上の避難要件を具体的に義務付けているわけではありません。認定緊急災害専門家 (CEDP) にとって、ADAへの準拠は法的義務であるだけでなく、道徳的義務でもあります。効果的な計画には「機能的ニーズ」アプローチが必要であり、避難経路に障害物がないこと、標識が点字または高コントラストのテキストであること、避難用椅子の使用など特定の支援技術についてスタッフが訓練されていることを確認する必要があります。このような包括的な計画により、危機発生時に、身体的または精神的な能力に関する先見性の欠如のために取り残される人がいないようにすることができます。

最新問題: 19

代替案のうち、リソースの分類として知られる緊急事態管理の概念を指すのはどれですか？

- A. 相互援助対応のニーズ
- B. 調達先の決定
- C. 適切なリスク管理策の選択

Answer: ([解答を表示する](#))

リソースの分類は、国家インシデント管理システム (NIMS) の中核をなす柱であり、人員、機器、チーム、施設などのリソースをその能力に基づいて分類および記述します。1リソースの分類の主な目的は、相互援助対応のニーズ (オプションA) を促進することです。2標準化された定義を使用することで、ある州の緊急事態管理者は、別の州に「タイプ1インシデント管理チーム」または「タイプ3の山火事用トラック」を要請し、受け取る能力のレベルを正確に把握することができます。

リソースの型付けには、主に3つの記述子を使用されます。

- * カテゴリー：広範な機能 (例：消防法執行、医療)。
- * 種類：特定のアイテムまたはチーム (例：救急車ヘリコプター、搜索犬)。
- * タイプ：能力レベル (タイプ1が最高/最も能力が高く、タイプ4が最低)。

リソースの分類がなければ、相互援助は非効率的です。例えば、ある管轄区域が洪水対策として「ポンプ」を要請した場合、実際には大容量の工業用ポンプが必要なのに、小型の地下室用ポンプが送られてくる可能性があります。

リソースを「タイプ指定」することで、要求は明確になります（例：「タイプ1の大容量ポンプが2台必要です」）。これにより、「適切なツール」が「適切な作業」に確実に送られるため、リソースが限られており、時間が重要な場合に非常に役立ちます。

CEDP専門家にとって、リソースの分類はギャップ分析に不可欠です。準備段階で、管理者は既存の在庫を「分類」します。分析の結果、タイプ1の能力が必要な災害に対してタイプ3の能力しか持っていないことが判明した場合、訓練、調達、または相互援助協定を通じて埋めなければならないギャップがあることがわかります。この標準化された用語により、全国でリソースの「相互運用性」が確保され、要請州のニーズと支援州の分類された資産を照合することで、緊急事態管理支援協定（EMAC）が円滑に機能することが保証されます。

最新問題: 20

インシデントコマンドシステムの使用を明記した緊急時対応計画を策定する際に、計画担当者にとって最大の課題となる問題は何ですか？

- A. 主要な危険要因の特定
- B. 関係機関との連携
- C. 必要な機能を決定する

Answer: ([解答を表示する](#))

インシデント・コマンド・システム（ICS）を活用した緊急オペレーション計画（EOP）を策定する際の最大の課題は、必要な機能を特定することです。ICSは「機能管理システム」であり、誰が行うか（機関ではなく、何を行う必要があるか（機能に基づいて対応を組織化します。従来、緊急計画は機関固有のタスク（例：警察署はXを行う）を中心に構築されてきました。ICSベースの計画に移行するには、計画担当者は対応を指揮、運用、計画、ロジスティクス、財務／管理の5つの主要な機能領域に分解する必要があります。

機能の決定は「モジュール」的な考え方が必要となるため困難です。計画担当者は、さまざまな種類の事案に対してどの特定の機能ユニット（たとえば、除染ユニット」や「ボランティア調整グループ」）が必要かを特定する必要があります。計画で必要な機能が特定されない場合、そのタスクは割り当てられないことが多く、対応にギャップが生じます。オプションA（危険の特定）はTHIRAプロセスの標準的な部分であり、最新のマッピングツールを使用すれば比較的簡単です。オプションB（関係機関との調整）は継続的な管理作業ですが、機能的な整合性によって、関係機関が統一された構造の下で実際に協力して作業できるようになります。

NIMSの教義によれば、「目標管理」は、機能構造がインシデントのニーズに合致した場合にのみ達成されます。CEDPの専門家にとって、これはEOPがインシデント指揮官が必要な「モジュール」のみをアクティブ化できるほど柔軟でなければならないことを意味します。プランナーは、

特定の機能をアクティブ化するための「トリガー」。例えば、「物流」部門が「食料ユニット」と「医療ユニット」を別々に必要とするのはどのような場合か。計画段階でこうした「機能的

なパズル」を解くことで、実際の災害時の混乱の中でも組織図がシームレスに拡張 縮小できるようになり、ICSシステムの特徴である拡張性が確保される。

最新問題: 21

災害発生時、効果的な物理的セキュリティを確保するための最良の触媒となるものは何でしょうか？

- A. パトロール
- B. 監視
- C. 障壁

Answer: C (メッセージを残す)

災害時の物理的セキュリティの分野では、障壁はセキュリティを確保するための主要かつ最も効果的な触媒として機能します。フェンス、ボラード、ジャージーバリア、施錠されたドアなどの障壁は、

人間の介入や電力を必要とせず、24時間365日稼働する「パッシブセキュリティ」。FEMAによると

430 :リスク管理シリーズでは、障壁は「多層防御」戦略の基礎となる層であると述べています。障壁は、不正アクセスを物理的に遅延または防止するものであり、人員が不足し、停電により監視カメラなどの電子システムがオフラインになる可能性がある災害時には特に重要です。

巡回 オプションA)と監視 オプションB)はセキュリティ計画の重要な要素ですが、これらは人員と技術に依存する「能動的な」対策です。大規模災害時には、警察や警備員は人命救助の任務に回されることが多く、監視システムは煙、瓦礫、または技術的な故障によって機能しなくなる可能性があります。浄水場の周囲のコンクリート壁や倒壊した建物の周囲の仮設フェンスなどの物理的な障壁は、環境に関係なく効果を発揮します。障壁には、抑止（目に見える抑止力）、遅延（侵入者の動きを遅らせて対応を可能にする）、および阻止（アクセスを完全に阻止する）という3つの主要な機能があります。

CEDP（災害緊急対応計画の専門家にとって、障壁の選択は重要な緩和策および対応策の一つです。例えば、病院で多数の負傷者が出るような事態が発生した場合、物理的な障壁を用いて「封鎖区域」を設け、負傷者の流れを管理し、報道関係者や野次馬を治療区域から遠ざけます。障壁によって「強固な境界線」を確立することで、現場指揮官はより少ない人員で現場を統制できます。このような構造的なセキュリティ対策により、最も厳しい状況下でも「インフラセキュリティ」が維持され、対応要員が侵入や重要物資の盗難といった絶え間ない脅威にさらされることなく、本来の任務に集中できる安定した環境が確保されます。

最新問題: 22

連邦政府機関間作戦計画 (FIOP)には、どのような種類の情報が記載されていますか？

- A. 予期せぬ事態に対応するためのリソースの同期
- B. 連邦政府の能力を満たすための作戦構想

C. 医療連携に必要なリソースの調整

Answer: B (メッセージを残す)

連邦機関間運用計画 (FIOP)は、連邦政府が国家準備目標に記載されている32の中核能力をどのように提供するかに関する運用構想 (CONOPS)を説明する文書です。4国家対応枠組み (NRF)は「高レベルの教義」を提供しますが、FIOPは連邦機関が州/地方のパートナーと協力するための「運用の詳細」を提供します。

予防、保護、緩和、対応、復旧という5つの任務領域それぞれに、特定のFIOP (災害対応計画)があります。5 FIOPには以下の内容が記載されています。

- * 重要なタスク :コア機能を実現するために実行しなければならない具体的な行動。

- * 責任: さまざまな緊急支援機能 (ESF) の下で、どの連邦省庁または機関 (FEMA、HHS、EPA など) がどのタスクを担当しているか。

- * 必要な資源 : 国家レベルの対応に通常必要となる資源の種類と量。

- * 統合 : 連邦政府の活動が、州、地方、部族、準州 (LTT) の取り組み、および民間部門とどのように連携するか。

CEDP候補者にとって、FIOPは連邦政府統合の「ハウツー」マニュアルです。オプションAは感情的には部分的に正しいですが、FIOPは「予期せぬ不測の事態」だけでなく、既知のコア機能を中心に設計されています。オプションCは、より広範な省庁間FIOPではなく、ASPR文書で扱われているヘルスケア連合に特に言及しています。FIOPは作戦構想を詳細に記述することで、連邦政府の災害が宣言されたときに、米国政府の巨大な機構が同期して予測可能な方法で動くことを保証します。6これにより、「階層的対応」は単なる理論ではなく、連邦政府の支援が現場の地方および州の指揮官によって特定された特定のギャップに合わせて調整される機能的な現実であることが保証されます。

最新問題: 23

国土安全保障省 (DHS)の使命を最もよく表しているのは、次のうちどれですか？

A. 多くの組織間で共通のビジョンを持つ、集中型の単一企業

B. 分散型の運営を行う多面的な事業

C. 大規模な機関がセキュリティ情報を収集、評価、共有する

Answer: A (メッセージを残す)

国土安全保障省 (DHS)は、多くの組織間で共通のビジョンを持つ、焦点を絞った単一の組織と表現するのが最も適切です。1991年9月11日の同時多発テロ事件後に設立されて以来、DHSの使命は、これまで断片化されていた国内の安全保障活動を単一の「国土安全保障組織」に統合することでした。2この組織には、連邦政府機関 (FEMA、TSA、CBP、沿岸警備隊など)だけでなく、州、地方、部族、準州のパートナー、民間部門、そしてアメリカ国民も含まれます。3「共通のビジョン」は、4年ごとの国土安全保障見直し (QHSR)で定義されており、5つの主要な使命が示されています。

テロを防止し、治安を強化する。

国境の安全確保と管理。

- * 移民法の執行および管理。

・サイバースペースの保護とセキュリティ確保。

災害に対する回復力を確保する。

選択肢Bは誤りです。DHSは多面的な組織ではありますが、その目標は「分散型」の縦割り組織から、統合された「努力の統一」へと移行することにあるからです。選択肢Cは機能（情報共有）を説明していますが、「エンタープライズ」としての使命を捉えていません。CEDP専門家にとって、DHSをエンタープライズとして理解することは、助成金の獲得やリソースの調整において非常に重要です。これは、地方警察の対テロ活動が、沿岸警備隊の港湾警備やCISAのサイバーセキュリティ対策と同じ「ビジョン」の一部であることを意味します。この単一エンタープライズのアプローチにより、国の多様なセキュリティ構成要素が同じ戦略目標に向かって活動し、国土防衛における重複やギャップが削減されます。

最新問題: 24

呼吸用保護具における「指定保護係数」の概念を定義するものは何ですか？

- A. 呼吸保護具の保護性能を定性的に評価して決定される個人疾病要因
- B. 適切に装着されたデバイスを正しく着用している個人に提供される保護レベル
- C. NIOSHが呼吸器を承認する前に許容できると判断した保護レベル

Answer: [\(解答を表示する\)](#)

指定保護係数 (APF) は、OSHAが定義した指標 (29 CFR 1910.134) であり、雇用主が継続的かつ効果的な呼吸保護プログラムを実施した場合に、呼吸保護具または呼吸保護具のクラスが従業員に提供することが期待される職場レベルの呼吸保護を表します。

具体的には、正しく装着された機器を適切に装着した個人に提供される保護レベルのことです。

例えば、APFが10ということは、その呼吸用保護具が許容曝露限界 (PEL) の10倍までの空気汚染物質から着用者を保護できることを意味します。有害物質の濃度がPELの50倍の場合は、APFが50以上の呼吸用保護具（全面形空気浄化式呼吸用保護具など）を使用する必要があります。APFは、単純な半面形呼吸用保護具の10から、陽圧式自給式呼吸器 (SCBA) の10,000まで幅広くあります。

CEDPおよびHAZWOPERの文脈では、APFは適切なPPEを選択するために使用される「安全乗数」です。

計画担当者は、APFは、呼吸用保護具が年次のフィットテストによって「適切に装着」され、かつ使用者がそれを「正しく」装着するように訓練されている場合にのみ有効であることを理解する必要があります。使用者の顔の毛がシールを妨げる場合、汚染された空気はシールの隙間を通して抵抗の少ない経路を通るため、APFは実質的にゼロになります。オプションCは、NIOSHがデバイスを承認する一方で、OSHAが規制遵守と現場の安全計画に使用される保護係数を割り当てるため、誤りです。APFを理解することは、災害対応者が有毒な雰囲気に入るときに保護が不十分にならないようにするために重要です。

最新問題: 25

どのような対応が、融合センターの使命の根幹となる強さを定義するのでしょうか？

- A. 代理店との連携
- B. 状況認識
- C. 情報フロー

Answer: A ([メッセージを残す](#))

フュージョンセンターの基盤となる強みは、機関間の連携によって決まります。フュージョンセンターは、正式には「犯罪やテロ活動の探知、防止、捜査、対応能力を最大限に高めることを目的として、リソース、専門知識、情報をセンターに提供する2つ以上の機関による共同作業」と定義されています。「情報フロー」(オプションC)はプロセスであり、「状況認識」(オプションB)は結果ですが、法執行機関、消防、公衆衛生、民間部門など、多様な分野間の実際の連携こそが、センターに独自の力を与えているのです。

フュージョンセンターは、9.11同時多発テロ事件後に設立され、連邦政府機関と地方機関が情報連携を阻害していた「情報サイロ」を打破することを目的としています。フュージョンセンターは、異なる機関の代表者を同じ場所に集めることで、「水平統合」を可能にします。例えば、地元の消防検査官が倉庫内で異常な量の化学物質に気づいた場合、警察の刑事と情報を共有することで、より大規模なテロ計画との関連性が明らかになるかもしれません。このような分野横断的な連携により、どの機関も単独では作成できない、より包括的な脅威評価が可能になります。

認定緊急災害専門家 (CEDP)にとって、フュージョンセンターは国家インシデント管理システム (NIMS)の「情報分析」コンポーネントに相当します。センターの強みは、パートナーシップの深さによって測られます。グローバル司法情報共有イニシアチブ (Global Justice Information Sharing Initiative)によると、「フュージョンプロセス」は、参加者が単なる協力関係を超えて真の協働へと進み、データだけでなく技術的な専門知識や地域特有の知識も共有する場合にのみ成功します。このような協働環境により、「コミュニティ全体」は、壊滅的な災害につながる前に新たな脅威を特定できる、積極的な複数機関による情報ネットワークによって守られることが保証されます。

最新問題: 26

緊急対応相互運用センター (ERIC)の使命を最も適切に表しているのは、次のうちどれですか？

- A. 700MHz帯公共ブロードバンド無線ネットワークの運用
- B. 現場の指揮官および主要機関に状況報告を提供する
- C. 主要セクターにおける通信復旧の優先順位調整

Answer: ([解答を表示する](#))

緊急対応相互運用センター (ERIC)は、700MHz帯公共安全ブロードバンド無線ネットワークの開発と利用を促進するために、連邦通信委員会 (FCC) 内に設立されました。その使命は、この高速データネットワークが異なる管轄区域や機関間で完全に相互運用可能であることを保証し、災害時に警察、消防、救急医療サービスが映像、データ、地図をシームレスに共有できるようにすることです。

ERICの設立とその後のFirstNetの開発以前は、公共安全通信はさまざまな周波数帯域と独自の技術にまたがって断片化されていることが多かった。ERICは、9/11やハリケーン・カトリナの際に見られた相互運用性の障害を防ぐため、700MHz帯域の技術標準と「運用規則」を作成する任務を負っていた。復旧の調整（オプションC）はESF #2（通信の役割であり、状況報告（オプションB）は一般的なEOCの機能であるが、ERICの具体的な「任務」は、緊急対応要員のための国家ブロードバンドインフラストラクチャの技術的な実装と結びついている。

認定緊急災害専門家（CEDP）にとって、ERIC/FirstNetの役割を理解することは、コミュニティの相互運用可能な通信計画を近代化する上で不可欠です。この高速ネットワークにより、リアルタイムのドローン映像、遠隔医療モニタリング、タブレット端末を用いたインシデント管理といった高度なツールを利用できるようになります。ERICは、700MHzネットワークの標準化と相互運用性を確保することで、共通運用状況図（COP）を支える「デジタルハイウェイ」を提供し、所属機関のバッジや出身都市に関係なく、救命に必要なデータが各機関間で自由にやり取りされることを保証します。

最新問題: 27

CDC（米国疾病予防管理センター）がカテゴリーAのリスクに分類する生物学的因子は何ですか？

- A. ウイルス性脳炎
- B. ブルセラ症
- C. ボツリヌス症

Answer: C (メッセージを残す)

米国疾病予防管理センター（CDC）は、生物剤を大量死傷者の可能性、拡散の容易さ、および必要な公衆衛生上の準備レベルに基づいて、3つの優先順位（A、B、C）に分類しています。ボツリヌス症（クロストリジウム・ボツリヌム毒素によって引き起こされる）は、カテゴリーAの生物剤に分類されます。

これらは国家安全保障と公衆衛生に最も大きなリスクをもたらすため、「最優先」の対象となる病原体である。

カテゴリーAの薬剤は、以下の特徴を持つ。

- * 人から人への拡散または伝播の容易さ（ボツリヌス菌自体は伝染性ではないが、非常に強力で、エアロゾル化したり食品に混入したりしやすい）。

- 高い死亡率と、公衆衛生に重大な影響を与える可能性。

- * 公衆のパニックや社会混乱を引き起こす可能性。

- * 公衆衛生対策のための特別な措置の必要性。

対照的に、ブルセラ症（オプションB）とウイルス性脳炎（オプションA）はカテゴリーB病原体に分類されます。

カテゴリーBの病原体は、2番目に優先度の高い病原体です。これらは比較的容易に拡散し、中程度の罹患率をもたらしますが、一般的にカテゴリーAの病原体よりも死亡率は低くなります。ウイルス性脳炎（ウエストナイルウイルスやVEEなど）やブルセラ症は、診断能力

と疾病監視の強化が必要ですが、ボツリヌス毒素の放出ほど壊滅的な脅威ではありません。CEDPの専門家にとって、カテゴリAのリスクを認識することは、医療対応能力の増強や、ボツリヌス中毒事件発生直後に必要となる抗毒素などの国家戦略備蓄（SNS）資産の配分を計画する上で不可欠です。

最新問題: 28

NIMSの通信および情報基準は、なぜ意思決定者に対し、緊急対応活動中に正確な状況把握を維持することを推奨しているのでしょうか？

- A. 上級現場指揮官間での情報共有の一貫性を確保する
- B. 緊急対応要員やその他の職員が重複した作業を避けるのを支援する
- C. すべてのメディア向け情報発信の適時性と正確性を確保する

Answer: B (メッセージを残す)

国家インシデント管理システム（NIMS）は、主に運用効率とリソース管理を強化するために、共通運用状況図（COP）の重要性を強調しています。4COPは、さまざまな機関や管轄区域間で共有される、インシデントの継続的に更新される概要です。正確な運用状況図を維持することで、すべての意思決定者と現場担当者は、リソースの位置、インシデントの境界、危険区域に関する同じデータを見ることができます。5この共有された状況認識は、緊急対応者やその他の担当者が重複した作業を避けるのに役立つ最も効果的なツールです。複数の機関（消防警察、救急医療サービス、公共事業）が大規模災害に対応する場合、独立した行動または「フリーランス」のリスクが高くなります。これは、異なるチームが同じタスクを実行する（たとえば、同じ建物を2回搜索する）一方で、他の重要なニーズが満たされないというものです。6NIMS通信基準では、インシデントコマンドが活動の衝突を回避できるように、情報が規律のある構造を通じて流れることを義務付けています。

上級指揮官間の一貫性（オプションA）と正確なメディア発表（オプションC）は、COPの重要な副次的利点ではあるが、主要な作戦推進要因ではない。

中核となる目標は「努力の統一」です。FEMAのNIMSドクトリンによれば、効果的な情報管理によって、インシデントコマンドは限られたリソースの効果を最大限に引き出すことができます。CEDPプロフェッショナルにとって、COPの確立には、GISマッピング、ステータスボード、相互運用可能な無線システムの統合が含まれます。すべての対応者が何が行われ、現在何に対処されているかを把握していれば、「味方による誤射」や物流上のボトルネックのリスクが大幅に軽減されるため、人員の安全性が向上します。この体系的なアプローチにより、対応は無駄がなく、迅速かつ協調的になり、NIMSの「目標管理」の原則を直接反映します。

最新問題: 29

災害作業員に適用されるOSHA一般産業基準は、何に記載されていますか？

- A. 29 CFR 1904
- B. 29 CFR 1910
- C. 29 CFR 1926

Answer: B ([メッセージを残す](#))

労働安全衛生局 (OSHA)の規制は、業種に基づいて異なる「パート」に分かれています。29 CFR 1910には一般産業基準が含まれており、これは医療、製造、一般的な緊急対応など、災害作業員の大多数の安全を規定する主要な規則です。瓦礫撤去や再建に携わる建設作業員には29 CFR 1926などの他のパートが適用される場合もありますが、1910は米国における労働安全の「基礎」となっています。

29 CFR 1910の中で、災害対策の専門家にとって特に重要な特定のサブパートがいくつかあります。

* 1910.120 (HAZWOPER): 有害物質の放出に対応する作業員の安全を規定する。

* 1910.134 (呼吸用保護具) : 呼吸用保護具を使用する労働者に対し、フィットテストおよび健康診断を義務付ける。10

* 1910.38 (緊急時行動計画) : 雇用主に対し、避難および防火に関する書面による計画の策定を義務付けている。11

* 1910.1030 (血液媒介病原体) : 対応者感染性物質への曝露から保護します。

オプションA (1904)は特に労働災害および疾病の記録と報告に関するものであり、オプションC (1926)は建設に関するものである。CEDP受験者にとって、1910年は職場の安全に関する「バイブル」である。

OSHAの「一般義務条項」(労働安全衛生法第条(a)(1)項)では、特定の災害関連の危険が基準に明記されていない場合でも、雇用主は認識されている危険のない職場を提供しなければならないと規定されています。災害発生時には、OSHAはしばしば「技術支援」の役割に移行し、現場指揮官が職員に対するリスクを特定するのを支援しますが、1910年基準に従うという根本的な法的要件は、対応者自身が被害者にならないようにするために依然として有効です。

最新問題: 30

FEMAの主要な計画目標を最もよく表しているのは、次のうちどれですか？

A. 核関連攻撃に備え、適切な対応計画を立てる。

B. あらゆる災害に対応できる「全災害対応」のアプローチを推進し、あらゆる不測の事態に備える。

C. インフラ整備と自然災害対策を優先する

Answer: ([解答を表示する](#))

FEMAの主要な計画目標は、大統領政策指令8 (PPD-8)およびFEMAの包括的準備ガイド (CPG) 101に明記されているように、「あらゆる災害」への対応を促進・実施することで、あらゆる不測の事態に備えることです。この目標は、緊急事態管理における根本的な転換を反映しており、「シナリオベースの計画」(核戦争や特定のハリケーンといった特定の事象への備え)から「能力ベースの計画」(あらゆる災害に適用できる共通の対応構成要素の構築)へと移行しています。

あらゆる災害に対応するアプローチは、災害の引き金となる要因は多様である（自然災害、技術災害、人為災害など）ものの、対応要件はしばしば同一であるという現実に基づいています。例えば、

「公共情報と警告」は、脅威が竜巻であろうと化学物質漏洩であろうと、ほぼ同じです。FEMAはこれらの共通点に焦点を当てることで、以下のことを確実にします。

* 効率性：何百もの個別の災害対策計画を作成するのではなく、「機能別付属文書」を作成することで、計画リソースを効果的に活用できます。

* 機敏性：コミュニティは、指揮、通信、ロジスティクスの中核となるシステムを既に備えているため、「未知の事態」（ブラックスワン現象）への備えができています。

* 標準化：NIMSとICSを使用することで、危険の種類に関係なく、すべての対応者が同じ言語で話すことが保証されます。

CEDPの専門家にとって、あらゆる災害に対応するという目標は、現代のレジリエンスの基盤です。オプションAは冷戦時代の「民間防衛」の遺産であり、オプションCは範囲が狭すぎます。「あらゆる災害に対応する」という目標は、地方自治体が、あらゆる危機に対応できるよう拡張・適応可能な、単一の強固な緊急時対応計画（EOP）を策定することを可能にします。これにより、国家の備えが特定の分野に偏ることなく、「地域社会全体」が直面するあらゆるリスクを網羅できるほど広範であることが保証されます。

最新問題: 31

国土安全保障のあらゆる側面における準備状況を測定する上で、最も役立つのは何でしょうか？

A. 全国連合演習

B. 国民運動プログラム

C. 全国的な集大成演習

Answer: B (メッセージを残す)

国家演習プログラム（NEP）は、国土安全保障全般にわたる国家の準備態勢を測定・向上させるための主要な仕組みです。FEMA（連邦緊急事態管理庁が管理するNEPは、国家準備目標に記載されている中核能力を検証する、一貫性のある複数年にわたる演習スケジュールを提供します。

NEPは「あらゆる災害」に対応するように設計されており、連邦政府、州政府、地方自治体、部族政府、準州政府に加え、民間企業や非営利団体も参加している。

国家キャップストーン演習（オプションC）は、国家緊急事態プログラム（NEP）における注目度の高い隔年イベントであり、特に国家が壊滅的なシナリオ（多くの場合、大統領と閣僚が関与）に対応する能力をテストするものですが、国家緊急事態プログラム（オプションB）全体は、準備状況を継続的かつ体系的に測定するものです。NEPは、演習が単なる「単発」イベントではなく、より大きな枠組みの一部であることを保証します。

小規模なセミナーから始まり、大規模な本格的なシミュレーションへと段階的に発展していく「プログレッシブ・エクササイズ・プログラム」。

NEPで使用されているHSEEP（国土安全保障演習評価プログラム）の方法論によれば、準備態勢の「尺度」は事後報告書（AAR）と改善計画（IP）に示されています。政府は、これらの国家レベルの演習中に能力のギャップを特定することで、最も重大な脆弱性に対処するために、補助金の配分、訓練の優先順位、および政策策定を調整することができます。CEDPの専門家にとって、NEPは準備態勢の「最終試験」に相当します。NEPは、国の「統合対応」が実際に機能していることを証明するために必要な実証データを提供し、理論的な計画を超えて、32のコア能力すべてにわたる実証された運用上の現実へと移行します。

有効な **CEDP** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい CEDP 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **CEDP** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com CEDP 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com CEDP 問題集をゲットする人はこちら: <https://www.goshiken.com/IBFCSM/CEDP-mondaishu.html> (148**30%OFF**問題集溶と正解付きで **30%w**特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: 32

環境への脅威となる有害物質の放出が最も多く発生する場所はどこですか？

- A. 道路と高速道路
- B. 航行可能な水路
- C. 鉄道システム

Answer: ([解答を表示する](#))

統計的に見ると、パイプライン（危険物安全管理局（PHMSA）と国家対応センター（NRC））のデータによれば、危険物（HazMat）事故の大部分は道路や高速道路（オプションA）で発生しています。東パレスチナの脱線事故のような鉄道事故（オプションC）や水路での海上流出事故（オプションB）は、より壊滅的な被害をもたらす、メディアの注目度も高いことが多いですが、トラックで輸送される危険物の膨大な量により、規模は小さいながらも環境を脅かす流出事故がはるかに頻繁に発生しています。

高速道路は、交通量の多さ、運転手の疲労、天候、そして大型タンクローリーの走行を想定していない狭い地方道路を走行する「ドアツードア」のトラック輸送の性質上、事故が頻繁に発生しやすい。毎日、何千台ものトラックが可燃性液体、腐食性酸、有毒ガスを輸送している。商用車が巻き込まれる軽微な接触事故でさえ、燃料タンクの破損やバルブからの漏れを引き起こし、土壌や地下水の汚染につながる可能性がある。

CEDPフレームワークでは、高速道路における危険物の「一時的な性質」を理解することが極めて重要です。化学工場のような固定施設とは異なり、高速道路での漏洩事故はどこでも発生する可能性があり、多くの場合、専門の危険物対応チームから遠く離れた場所で発生します。このような事故の発生頻度の高さから、地域の緊急対応要員は、HAZWOPER基準に基づく高度な認識および運用レベルの訓練を受ける必要があります。鉄道や水上輸送では一度に輸送される危険物の量は多いものの、「マイルあたりの事故発生率」は道路輸送

の方がはるかに高いため、道路輸送は輸送関連の緊急時計画や環境保護活動において主要な焦点となります。

最新問題: 33

災害対策の専門家は、どのような場所を被災者のための非従来型の住居として検討するだろうか？

- A. 学校および公共施設
- B. テントおよびプレハブ建築物
- C. 利用可能な船舶と列車

Answer: C (メッセージを残す)

大規模避難所（緊急支援機能）の文脈では、住居は用途と展開速度に基づいて分類されます。船舶や列車は、長期居住用に設計されたものではなく、安全な避難所として機能させるには極めて綿密なロジスティクス調整が必要となるため、従来とは異なる住居とみなされます。収容能力は高いものの、衛生面、医療へのアクセス、被災者の心理的な「隔離」といった点で大きな課題を抱えています。

対照的に、学校や公共施設（オプションA）は「従来型」または「集団型」避難所とみなされ、ほとんどの地方自治体の緊急時対応計画（EOP）の主要な対象となっています。テントやプレハブ建築物（オプションB）は「暫定型」または「仮設型」住宅とみなされます。船舶（クルーズ船など）の利用は、ハリケーン・カトリーナへの対応時や大規模な復旧作業中の作業員の宿泊など、まれな状況で行われてきましたが、決して「推奨」または一般的な方法ではありません。

IBFCSM CEDPガイドラインによると、非従来型の住宅オプションは、

「従来型」および「暫定型」の選択肢が完全に尽きたか、あるいは環境が陸上避難には有害すぎる場合。船舶や列車を利用するには、特別な安全検査（沿岸警備隊または連邦鉄道局の規制）、専用の廃棄物管理システム、そして二次災害が発生した場合の移動式住宅ユニット自体の「完全避難」計画が必要となる。災害対策の専門家は、こうした非従来型の解決策にかかる高額な費用と物流上の複雑さを、避難民のための空調完備の安全な環境という緊急のニーズと照らし合わせて検討しなければならない。

最新問題: 34

ハザード脆弱性分析の重要な特徴を表すフレーズは何ですか？

- A. 包括的な性質
- B. 現実的な範囲
- C. 内容物中のすべての危険

Answer: A (メッセージを残す)

ハザード脆弱性分析（HVA）は、本質的に包括的であるという点で定義されます。

「現実的」（オプションB）と「あらゆる災害に対応」（オプションC）は計画策定プロセスにおいて重要な要素であり、HVA（ハザード価値評価）は組織やコミュニティにとって包括的な診断ツールとして機能します。効果的なHVAを行うには、自然災害、技術災害、人為的災害

など、あらゆる脅威を体系的に評価し、生命、財産、事業継続性への潜在的な影響を査定する必要があります。

HVA（病院脆弱性評価の包括的な性質上、学際的なアプローチが求められます。洪水発生の可能性だけでなく、病院内の特定の患者集団の脆弱性、電力網の脆弱性、そしてサイバー攻撃が同時に発生する可能性なども考慮する必要があります。ジョイント・コミッションの基準およびIBFCSM CEDカリキュラムによれば、HVAは毎年見直しを行い、新たなデータを取り入れることで、脅威の状況変化（例えば、パンデミックのリスクや社会不安の追加）に対応し、包括的」であり続けることが保証されます。

包括的な分析を行うことで、HVA（ハザードバリュー分析）は、緩和策と備えへの投資の優先順位付けにおける主要な推進力として機能します。HVAは、発生確率、人的影響、物的影響、事業への影響、備えといった要素を測定するスコアリングシステムを用いて、「リスク優先度番号」を算出します。分析が包括的でない場合、組織はハリケーンへの備えは万全でも、局地的な有害物質の流出や重大なIT障害に対しては完全に脆弱な状態になる可能性があります。したがって、包括的」という特性は、計画段階で地域社会の防御における重大な欠陥が見過ごされることがないように保証するものです。

最新問題: 35

「アクティブシューター対策計画と対応：医療公共部門」という出版物は誰が作成したのですか？

- A. 全米防火協会
- B. 国際救急医療サービス責任者協会
- C. アメリカ国際安全保障協会

Answer: B (メッセージを残す)

「アクティブシューター対策計画と対応：医療公共部門」と題されたこの出版物は、国際救急医療サービス責任者協会 (IAEMSC) によって作成されました。この文書は、病院や外来診療所などの医療環境におけるアクティブシューター事件への対応という特有の課題に関する緊急事態管理文献の特定のギャップを埋めるために作成されました。一般的なオフィスビルとは異なり、病院には歩行困難な患者、高価な医療機器、危険物（酸素化学物質）などがあり、これらすべてが戦術的な対応と避難プロセスの両方を複雑にします。

IAEMSC の出版物は「コミュニティ全体」のアプローチを強調していますが、法執行機関、消防、EMS の統合（「救助タスクフォース」の概念）に焦点を当てています。

「ウォームゾーン」作戦とは、法執行機関によって保護された救急隊員が現場に入り、脅威が軽減されたものの完全に無力化されていない段階で、止血帯や止血包帯の使用など、救命措置を行う作戦のことである。

認定緊急災害専門家 (CEDP) にとって、本書は「逃げる、隠れる、戦う」プロトコルに関する医療スタッフの訓練に不可欠な資料であると同時に、移動できない集中治療室 (ICU) 患者や外科患者に対する「その場待機」という臨床上の現実にも対応しています。本書は、多数の負傷者が出る事態発生後に生じる複雑なトリアージと対応能力の増強要件を調整するた

めに、インシデント・コマンド・システム (ICS)の使用を推奨しています。EMSリーダーによって開発された標準化されたフレームワークを提供することで、本書は医療施設が患者ケアという中核的な使命を維持しながら、攻撃による即時のトラウマに対処できるよう準備を整えることを保証します。

最新問題: 36

どのような能力が、緩和策のニーズに対応するための基盤となるのか？

- A. 脅威と危険の特定
- B. コミュニティのレジリエンス
- C. 複合災害対策計画

Answer: A (メッセージを残す)

脅威と危険の特定およびリスク評価 (HIRA)は、あらゆる緩和策の基礎となる能力です。FEMAの包括的準備ガイド (CPG)201によると、地域社会は、まず特定して定量化していないリスクを緩和することはできません。脅威と危険の特定は、懸念される脅威と危険を特定すること、脅威と危険に文脈を与えること (それらが地域社会にどのような影響を与えるかを説明すること)、そしてそれらの影響に基づいて能力目標を設定することという、体系的な3段階のプロセスで行われます。

災害軽減とは、災害の影響を緩和することで、人命や財産の損失を減らすための取り組みです。堤防をどこに建設するか、建物を耐震改修する場所、山火事防止のために低木を伐採する場所などを決定するには、計画担当者はハザード特定段階から得られる質の高いデータが必要です。これには、過去のデータ、地理情報システム (GIS)、予測モデリングなどが含まれます。例えば、あるコミュニティにおける洪水防止壁の「軽減ニーズ」は、100年洪水域と500年洪水域の「ハザード特定」に完全に依存します。

複合災害対策計画 (オプションC)はこれらの取り組みを組織化するために使用される枠組みであり、コミュニティのレジリエンス (オプションB)は望ましい最終状態ですが、どちらも脅威の特定によって提供される基礎データなしには存在し得ません。CEDPカリキュラムでは、これは緊急事態管理の「情報」機能に反映されています。緊急事態管理者は、地域の災害の「内容、場所、発生確率」を知ることギャップ分析を実施し、コミュニティの現在の防御策が不十分な箇所を特定できます。これにより、「リスクに基づいた」資源配分が可能になり、緩和プロジェクトが単なる「良いアイデア」ではなく、コミュニティの安全と経済的安定に対する最も重大な脅威に対処するために設計された、科学的に検証された介入策であることが保証されます。

最新問題: 37

原子力規制委員会 (NRC)は、原子力施設の警備員があらゆる種類のテロの脅威に対応できるよう、どのような訓練を実施すべきだと定めているのか？

- A. 多層防御訓練
- B. セキュリティ脆弱性演習
- C. 力対力の運動

Answer: C (メッセージを残す)

原子力規制委員会 (NRC)は、原子力発電所の物理的セキュリティと対応能力をテストする主要な方法として、実戦演習 (FOF)を義務付けています。この非常に現実的なシミュレーションでは、特別に訓練された複合敵対部隊 (CAF) (多の場合、民間部門または軍の戦術専門家で構成)が、施設に侵入して放射性物質放出を引き起こす「目標地点」に到達しようとする模擬テロリスト集団として行動します。施設の警備部隊は、確立された防御戦略を用いて、攻撃者を検知、遅延させ、無力化しなければなりません。

10 CFR Part 73によると、これらの演習は、潜在的なテロリストの人数、装備、戦術に関する機密プロファイルである設計基準脅威 (DBT)に対して施設をテストするために設計されている。

NRCの検査官は、認可を受けたすべての商業用原子炉で少なくとも3年に1回実施されるこれらの訓練を監督します。FOF訓練中に発見された弱点 (通信の不備、機器の故障、戦術的なギャップなど)は、正式な是正措置プログラムを通じて直ちに修正されなければなりません。

CEDPの専門家にとって、FOF演習は災害対策における「最高レベル」の訓練です。机上訓練や標準的な訓練とは異なり、FOFは「ワルスケール」かつ「敵対的」な訓練です。物理的な障壁、警報装置、武装した対応要員を含む「多層防御」(オプションA)の理念が、模擬攻撃のストレス下で実際に統合システムとして機能することを証明します。この厳格な試験により、原子力施設は国の重要インフラの中でも最も安全な構成要素の一つであり続け、進化する国家安全保障環境における高度な脅威にも耐えうる能力を備えていることが保証されます。

最新問題: 38

緊急時対応計画 (EOP)のどの要素が、対応および復旧活動に関する情報を提供しますか？

A. 危険物別付属文書

B. 状況的仮定

C. コミュニケーション文書

Answer: A (メッセージを残す)

標準的な緊急時対応計画 (EOP)では、災害別付属文書 (事象別付属文書とも呼ばれる)に、特定の脅威の種類に合わせた対応および復旧活動に関する詳細かつ実行可能な情報が記載されています。基本計画はあらゆる災害に対する一般的な枠組みを提供する一方、付属文書はハリケーン、有害物質の流出、生物災害の発生など、特定の災害特有の運用上の要件に焦点を当てています。

状況想定 (オプションB)は基本計画に記載されており、計画担当者が真であると考えられる「もしも」のシナリオを記述しています (例:「従業員の20%が利用できないと想定する」)。コミュニケーション文書 (オプションC)は、イベント中に実際に使用されたフォームとログを参照しますが、付属文書に記載されている戦略的または戦術的な情報は含まれていません。ハザード固有の付属文書には、そのハザードに対する固有のアクションのトリガー、必要な専門リソース、および特定の復旧マイルストーンが記載されています。たとえば、

「竜巻対策付属文書」では、緊急時の搜索救助手順が具体的に定められる一方、「パンデミック対策付属文書」では、ワクチン接種クリニックや隔離措置に重点が置かれる。FEMAのCPG 101によると、付属文書を使用することで、EOP（緊急時対応計画は整理された状態を保ち、拡張性を確保できます。これにより、基本計画が特定の種類の災害にしか適用されない技術的な詳細で過度に複雑になるのを防ぎます。CEDP（災害緊急時対応計画）の専門家にとって、これらの付属文書は組織の「行動マニュアル」です。特定の脅威が認識された際に、災害対策本部が、専門家と事前に検証・調整済みの対応および復旧手順をすぐに実行できるようにすることで、災害発生時の「ゴールデンアワー」における意思決定に費やす時間を短縮します。

最新問題: 39

潜在的な災害被害を軽減する際の不確実性を表現する定量的な方法は何か？

- A. 確率分布
- B. 経験的決定論的モデル
- C. ブール代数決定プロセス

Answer: A (メッセージを残す)

リスク評価と災害管理の分野では、確率分布は災害の影響を軽減する際の固有の不確実性を表現するために使用される主要な定量的手法です。特定の入力セットが常に特定の結果につながると仮定する決定論的モデルとは異なり、確率的リスク評価（PRA）は、災害は多くの未知の変数を持つ複雑な事象であることを認識しています。2. 確率分布（正規分布、対数正規分布、ベータ分布など）を使用することで、計画担当者は起こりうる結果の範囲と、それぞれが発生する可能性をモデル化できます。

確率分布の使用はモンテカルロシミュレーションの基礎であり、コンピュータモデルを何千回も実行し、毎回、定義された分布から変数のランダムな値を選択します。

「風速」、「堤防の高さ」、または「避難速度」。このプロセスにより、予想される死者数や経済的損失などの潜在的な結果の「予測」と、不確実性の統計的尺度（例：）が生成されます。

例えば、「損害額は1,000万ドルから1,500万ドルの間になる可能性が95%ある」といった具合です。

選択肢B（経験的決定論的モデル）は、決定論的モデルが点値（単一の数値）を使用するため、データの「ばらつき」や不確実性を考慮していないため、誤りです。選択肢C（ブール代数）は、故障経路を特定するためにフォールトツリー解析でよく使用される論理ベースのプロセス（真偽、1/0）ですが、統計分布のように最終結果の不確実性を定量的に表現するものではありません。

CEDP（コミュニティ・エデュケーション・プランニング・プログラム）の専門家にとって、確率分布を理解することは費用対効果分析において不可欠です。災害対策プロジェクトは費用がかかるため、意思決定者は資金を投入する前に「最悪のシナリオ」と「最も可能性の高いシナリオ」を把握したいと考えることがよくあります。災害対策の専門家は、リスクを分布として示すことで、洪水防止壁などの対策プロジェクトが分布曲線をどのように変化さ

せ、リスクを効果的に「軽減」するかを示すことができます。これにより、将来を100%確実に予測することはできないものの、起こりうる事態の範囲を定量化できるという認識に基づき、コミュニティのレジリエンス計画のための、より現実的で科学的に妥当な根拠が提供されます。

最新問題: 40

ICS（インシデント・コマンド・システム）構造の主要な特徴を表す用語は何ですか？

- A. モジュール
- B. シンプルさ
- C. 体系的

Answer: A (メッセージを残す)

インシデント・コマンド・システム（ICS）の組織的な特徴は、モジュール式であることです。これは、組織構造がインシデントの規模と複雑さに基づいて、トップダウン方式で機能的に構築されることを意味します。ICS環境では、特定のインシデントを管理するために必要な役職とセクションのみがアクティブ化されます。インシデントの複雑さが増すにつれて構造は拡張（モジュールの追加）され、インシデントが安定するにつれて構造は縮小（モジュールの非アクティブ化）され、管理可能な範囲が確保されます。

NIMS（国家インシデント管理システム）の原則によれば、モジュール型組織は、施設、設備、人員、通信を共通の組織構造内に統合することを可能にします。この柔軟性により、小規模な地域交通事故から大規模な複数州にまたがるハリケーン対応まで、同じ管理システムを使用することができます。例えば、小規模なインシデントでは、インシデント・コマンド（IC）のみで済むかもしれませんが、状況が進展するにつれて、ICは必要に応じて、作戦セクション、計画セクション、そしてそれらのセクション内の特定の支部や部門を活性化させることができます。

ICSを使用する一般的な利点として「シンプルさ」（オプションB）と「体系的」（オプションC）が挙げられますが、これらは構造的なアーキテクチャを説明するために使用される専門用語ではありません。ICSの「モジュール性」により、対応が「過剰管理」にも「管理不足」にもなりません。必要なリソースのみをその瞬間に投入することで、効率的なリソース利用が可能になります。CEDP試験においては、モジュール性を理解することが非常に重要です。なぜなら、モジュール性はインシデントのスケーラビリティと、インシデントコマンドが自身の管理能力を超える作業負荷が発生した場合にのみタスクを委任するという責任に直接関係するからです。

最新問題: 41

EPAは有害物質廃棄物処理法を施行するために、どのような法律を用いていますか？

- A. 資源保全回復法（RCRA）
- B. ユニバーサル廃棄物法
- C. 有害物質規制法

Answer: A (メッセージを残す)

資源保全回復法 (RCRA)は、環境保護庁 (EPA)に有害廃棄物を「ゆりかごから墓場まで」管理する権限を与える主要な連邦法です。12これには、有害廃棄物の発生、輸送、処理、保管、処分が含まれます。RCRAは1963年に制定されました。

1976年に産業廃棄物や「深夜の不法投棄」によって引き起こされる公衆衛生と環境への脅威の増大に対処するために制定されました。13 RCRAはいくつかの「サブタイトル」に分かれています。14 サブタイトルCは、有害物質に最も関連があり、「特性」有害廃棄物（引火性、腐食性、反応性、毒性）と「リスト」有害廃棄物を管理するための包括的なシステムを確立しています。この法律では、すべての有害廃棄物を統一有害廃棄物マニフェストを使用して追跡し、廃棄物が許可された処理、保管、処分施設 (SDF)に到達するまで、すべての段階で適切に処理されることを保証することが義務付けられています。

CEDP（環境保全開発専門家にとって、RCRA（資源保全回復法は災害復旧段階において極めて重要です。大規模な災害では、化学物質、アスベスト、鉛含有塗料などで汚染された大量の「災害廃棄物」が発生することがよくあります。RCRAに基づき、EPA（米国環境保護庁）は、こうした廃棄物が単に地域の埋立地に投棄され、地下水汚染につながることを防ぎます。15 その代わりに、EPAは廃棄物の「分別」に関するガイダンスを提供しています。有害物質規制法 (TSCA) オプションCはPCBや鉛などの特定の化学物質を規制し、「一般廃棄物」オプションBはRCRAにおける電池などの一般的な品目に関するカテゴリーですが、有害廃棄物業界全体に対する包括的な規制および執行の枠組みを提供しているのはRCRAそのものです。16

最新問題: 42

あらゆる自然災害への効果的な対応を確実にするためには、何が必要でしょうか？

- A. 過去の災害を分析し、そこから得られた教訓を伝える
- B. 共同計画会議を通じたコミュニケーションの強化
- C. 地方、地域、州レベルでのパートナーシップの構築

Answer: ([解答を表示する](#))

提供されるすべての選択肢は緊急事態管理に貢献するものの、効果的な対応の最も基本的な要素は、地方、地域、州レベルでの連携を確立することです。これは、FEMAと国家防災目標が提唱する「コミュニティ全体」のアプローチを反映しています。大規模な自然災害においては、単一の機関や管轄区域が単独で対応を管理できるだけの資源を持ち合わせているわけではありません。連携は、災害発生前の関係構築を促進し、それが災害発生時の効率的な対応へとつながります。

パートナーシップは、段階的対応の「連結組織」です。地方レベルでは、消防署が地元の公共事業部門や民間の公益事業者と協力関係を築くことを意味します。地域レベルでは、相互援助協定（消防と警察が使用するような協定）が関係します。州レベルでは、州兵と州レベルの緊急支援機能 (ESF)の統合が関係します。

CEDPカリキュラムによれば、災害現場で初めて名刺交換をするような事態は避けたい」とのことです。オプションAとBはパートナーシップによって実現する活動ですが、パート

ナークシップ自体が前提条件となります。例えば、共同計画 オプションB)はパートナーシップが確立されている場合にのみ実施されます。こうした多層的なパートナーシップにより、資源要求が円滑に進み、専門的な資産が周知され利用可能となり、管轄区域の境界について共通理解が生まれます。この「社会資本」は、一部のコミュニティが他のコミュニティよりも早く復興する主な理由としてしばしば挙げられます。確立されたパートナーシップを通じて築かれた信頼関係により、迅速な意思決定と統一された取り組みが可能となり、複雑な災害対応活動に内在する「摩擦」。

最新問題: 43

どのような種類の事案が発生した場合に、地域住民へのヨウ素投与が必要となる可能性があるか？

- A. 熱核爆発後の放射性降下物
- B. 医療施設からの放射性セシウム放出
- C. 原子力発電所からの放射性降下物

Answer: ([解答を表示する](#))

ヨウ化カリウム (KI)の投与は、放射性ヨウ素 (I-131)から甲状腺を保護するための特別な予防措置です。放射性ヨウ素は、原子力発電所 (NPP)からの放出や原子炉事故の重大な副産物です。原子炉の炉心が損傷すると、I-131が大気中に放出される可能性があります。吸入または摂取（汚染された牛乳や食品を介して）すると、甲状腺はそれを急速に吸収し、特に小児において甲状腺がんのリスクを著しく高めます。

ヨウ化カリウム (KI)は、安定した非放射性ヨウ素で甲状腺を飽和させることで作用します。甲状腺がヨウ素で「満杯」になると、放射性ヨウ素を含め、それ以上のヨウ素を吸収できなくなり、放射性ヨウ素は体外に安全に排出されます。

しかし、ヨウ化カリウム (KI)は甲状腺を保護するだけで、放射性ヨウ素に対してのみ有効です。セシウム137 (オプションB)などの他の放射性核種や、熱核爆発で発生する様々な同位体 (オプションA)に対しては、何の保護効果もありません。熱核爆発では、ヨウ素131が存在するものの、爆風、熱、その他の同位体による差し迫った脅威が非常に大きいため、KIの投与は「屋内待避」または避難よりも優先順位が低くなります。

CEDP資料に含まれるNRC（原子力規制委員会およびCDCのガイドラインによると、KIは原子力発電所から半径10マイルの緊急時計画区域 (EPZ) 内に居住する住民に配布されます。KIは被ばく直前または直後に服用すると最も効果的です。緊急事態管理者は、KIは全身を保護する「放射線薬」ではなく、甲状腺に特化した対策であることを一般市民に強調する必要があります。この区別は、KIを服用すれば「汚い爆弾」やI-131が存在しない可能性のある医療施設の漏洩事故の影響から免れることができると考える住民の間で誤った安心感が生じるのを防ぐために、公衆衛生コミュニケーションにおいて非常に重要です。

最新問題: 44

すべての任務領域に関係しない能力とは何ですか？

- A. 一般向け警告

B. 運用調整

C. 知能

Answer: C (メッセージを残す)

国家準備目標の下で、FEMA は 32 の中核能力を特定しています。7 これらの能力のほとんどは、1 つまたは 2 つの任務領域 (予防、保護、緩和、対応、または復旧) に特化しています。ただし、5 つの任務領域すべてに共通する 3 つの「横断的」能力があります。計画、広報および警告 (オプション A)、および運用調整 (オプション B)。情報 (特に、しかし、「情報および情報共有」は横断的な能力ではなく、主に予防および保護の任務領域に焦点を当てています。

この区別の根拠となる論理は、災害のあらゆる段階で計画が必要であり、あらゆる段階で関係機関の調整が必要であり、あらゆる段階で国民への情報発信が必要であるという点にある。しかし、

国土安全保障の文脈における「インテリジェンス」とは、特に敵対的脅威 (テロ) に関連する情報の収集と分析を指します。「情報共有」はあらゆる分野で重要ですが、国土安全保障の文脈における「インテリジェンス」とは、特に敵対的脅威 (テロ) に関連する情報の収集と分析を指します。

「情報」の中核的な能力には、法執行機関と情報機関のプロトコルが含まれており、攻撃が発生する前に「阻止する」(予防か、既知の脅威に対して標的を強化する)(防御かのいずれかである。

CEDP の専門家にとって、どの機能が「横断的」であるかを理解することは、統合計画にとって不可欠です。たとえば、緩和計画を作成する場合、広報と運用調整の要素を含める必要があります。これらは任務の基盤となるからです。8 ただし、通常、長期の洪水緩和計画に「情報」プロトコルを含めることはありません。この分類により、リソースが効率的に配分され、「情報」コミュニティが敵対的な脅威に専門的なツールを集中させ、より広範な緊急事態管理コミュニティがすべての災害に必要な機能的調整に集中できるようになります。

最新問題: 45

サイバーセキュリティ対策の基本的な構成要素として機能しない要素はどれでしょうか？

A. 自動化

B. 相互運用性

C. 暗号化

Answer: B (メッセージを残す)

サイバーセキュリティの分野では、「相互運用性は一般的にセキュリティの「構成要素」とはみなされていません。実際、多くの重要インフラの状況では、相互運用性は適切に管理されない脆弱性を高める可能性があります。相互運用性は緊急通信 (異なる無線機同士が通信できるようにする) の基本的な目標ですが、サイバーセキュリティでは、セグメンテーションとアクセス制御に重点が置かれています。

NISTサイバーセキュリティフレームワークで概説されている、堅牢なサイバーセキュリティ戦略の実際の構成要素は以下のとおりです。

* 暗号化 (オプションC) : 保存時および転送時のデータを保護し、権限のない第三者による読み取りを防ぎます。

* 自動化 (オプションA) : 現状サイバー攻撃のスピードに対応するため、脅威検出、パッチ管理、インシデント対応に自動化ツールを使用する。

* 認証 : ユーザーとデバイスの身元を確認する。

相互運用性 (オプションB) とは、異なるシステム間で情報を交換・利用できる能力を指します。業務効率化や災害対策において重要な一方で、ハッカーにとって「横方向の移動」の機会を生み出すことも少なくありません。公共水道システムが市の一般的なWi-Fiネットワークと高度に相互運用されている場合、Wi-Fiネットワークの侵害が水道制御システムの侵害につながる可能性があります。

CEDP候補者にとって、「情報管理」の目標と「セキュリティ」の目標を区別することは非常に重要です。災害時にシステム同士が通信できること（相互運用性は重要ですが、それらの接続は暗号化によって保護され、自動化によって監視されなければなりません。したがって、相互運用性はサイバーセキュリティが保護しなければならない運用上の要件であり、セキュリティを構築するためのツールではありません。

最新問題: 46

さまざまな政府レベルにおける計画策定活動の連携を指す概念は何ですか？

A. 水平統合

B. 垂直統合

C. モジュール式プランニング

Answer: ([解答を表示する](#))

垂直統合という概念は、地方レベルから州、そして最終的には連邦レベルに至るまで、さまざまなレベルの政府間で緊急計画と行動を「連携」または同期させることを指します。

FEMAのCPG 101によると、垂直統合は段階的対応の原則に基づいており、すべての災害は地域レベルで発生し、地域のリソースが限界に達した場合にのみ規模が拡大するという認識に基づいています。このシステムが機能するためには、地域の緊急オペレーション計画(EOP)が州のEOPと互換性があり、さらに州のEOPが国家対応枠組み(NRF)と互換性がある必要があります。

垂直統合により、どのレベルの政府がリソースを提供するかにかかわらず、共通の運用目標が確保されます。例えば、地方計画でインシデント・コマンド・システム(ICS)と特定のリソース分類が使用されている場合、州および連邦レベルも同じ基準を使用し、支援が地方の活動と「整合」するようする必要があります。これにより、管轄権の衝突を防ぎ、州および連邦の資産を地方のインシデント対応体制にシームレスに「組み込む」ことができます。

対照的に、水平統合 (オプションA) は、同じレベルの政府内の異なる機関または部門間の調整 (例: 地方消防署・地方警察署の計画) を指します。モジュール計画 (オプションC) は、イ

ンシデントの規模に基づいて計画を拡大または縮小する技術的能力を指しますが、政府間の関係を説明するものではありません。CEDP専門家にとって、垂直統合の達成は、準備段階における最も困難ですが不可欠なタスクの1つです。これは、「上位の管轄区域との継続的なコミュニケーションと 共同計画」を必要とし、

大規模な災害が発生した場合、地域社会は孤立するのではなく、垂直統合された国家的な対応システムの基盤となり、必要な場所に迅速に資源を投入することができる。

有効な **CEDP** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい CEDP 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **CEDP** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com CEDP 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com CEDP 問題集をゲットする人はこちら: <https://www.goshiken.com/IBFCSM/CEDP-mondaishu.html> (148**30%OFF**問題集溶と正解付きで **30%w**特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: 47

緊急対応要員は、システム手法についてどのようなことを理解しておく必要があるでしょうか？

- A. リスクは、システムに精通している人にとって、目に見える、あるいは予測可能なままである可能性がある。
- B. 絶対的なシステムにとって、リスクを新たな懸念事項または継続的な懸念事項として決して考えてはならない。
- C. 複雑すぎるプロセスは、ほぼすべてにおいて、失敗がつきまとうという本質的な性質を持っている。

Answer: C (メッセージを残す)

CEDPカリキュラム内の高信頼性組織 (HRO) とシステム安全性の研究において、緊急対応要員は、故障は事実上すべての過度に複雑なプロセスに固有の属性であることを理解する必要があります。これは、通常の事故理論 (チャールズ ペロー) に基づいています。この理論は、システムでは、

(原子力発電所 現代の病院、都市の電力網のように) 密接に結合し 相互依存しているシステムでは、その複雑さゆえにあらゆる潜在的な相互作用や故障経路を予測することが不可能であるため、事故は 正常あるいは避けられないものとなる。

システム思考は私たちに次のことを教えてくれる。

- * 複雑さは不確実性を生み出す :システムに関わる部品や機関が多いほど、ある部分での小さな障害が別の部分での壊滅的な障害に連鎖する可能性が高くなります。
- * リスクの不可視性 :オプションAとは対照的に、複雑なシステムにおけるリスクは、特定の状況が発生するまで 潜在的」または隠されていることが多い。4

* 絶対的な正しさなど存在しない オプションBは危険な誤謬です。システムが「絶対に正しい」と信じることは、自己満足（「タイタニック」効果）につながり、それがしばしば災害の主な原因となります。

認定緊急災害専門家（CEDP）にとって、システムが故障することを受け入れることがレジリエンスへの第一歩です。決して故障しない「完璧な」システムを構築しようとするのではなく、「冗長な」システムを構築し、障害が発生してもシステムが崩壊しない「フォールトトレラント」システム。これには、冗長性（バックアップシステム）、多様性（異なる種類のバックアップ）、および分離（ある障害が別の障害を自動的に引き起こさないようにする）の活用が含まれます。障害は複雑性の本質的な属性であることを理解することで、緊急事態管理者は、障害が発生した場合に、効果的な対応と復旧によって人命と財産への影響を最小限に抑えるという結果管理に焦点を移します。

最新問題: 48

移動式緊急対応支援（MERS）分遣隊を運営しているのはどの組織ですか？

- A. 連邦緊急事態管理庁¹
- B. 保健福祉省
- C. 国防総省

Answer: [\(解答を表示する\)](#)

移動式緊急対応支援（MERS）部隊は、連邦緊急事態管理庁（FEMA）が運営・維持する専門的な迅速対応チームです。²これらの部隊は、国家的に重要な災害や事件の際に、州、地方、連邦の対応者にモバイル通信、運用支援、ロジスティクス、発電を提供します。³MERSは基本的にFEMAの「最前線」戦術支援能力であり、地域の商業インフラが完全に破壊された場合でも、インシデント指揮所（ICP）または合同現場事務所（JFO）が機能することを保証します。

現在、MERS（緊急対応システム）の拠点は全米各地に戦略的に配置されています（ワシントン州ボセル、コロラド州デンバー、テキサス州デントン、メリーランド州フレデリック、マサチューセッツ州メイナード）。各拠点には、多目的無線車、衛星発電トラック、冷暖房設備などを含む車両群が配備されています。

彼らの主な任務は、衛星通信、高周波無線、およびセルラーIP技術を用いて「通信ブリッジ」を構築することです。これにより、共通作戦状況図（COP）を地域対応調整センター（RRCC）および国家対応調整センター（NRCC）に送信できるようになります。

CEDPプロフェッショナルにとって、MERSの能力を知ることは、災害対策計画において非常に重要です。ハリケーンや地震で地域の携帯電話基地局や光ファイバー回線がすべて破壊された場合、MERS部隊の到着は、

組織的な救助活動には「中枢」となる機能が必要である。国防総省（オプションC）も同様の能力を有しているが、それらは軍事任務、あるいは特定の「民間当局への国防支援」（DSCA）要請を通じて使用される。FEMAのMERSは、国家対応枠組みを支援し、最も厳しい環境下でも指揮統制構造が強靱性を維持できるよう特別に設計された、民間専用の資産である。⁴

最新問題: 49

緊急事態発生時に適切な対応を支援するためには、どのような事案対応計画活動が必要でしょうか？

- A. 組織資源
- B. 目標管理
- C. 共通用語

Answer: B ([メッセージを残す](#))

国家インシデント管理システム (NIMS)において、インシデント行動計画 (IAP)を推進し、協調的な対応を支援する中核的な活動は、目標管理です。この原則では、インシデント指揮官 (または統合指揮官)が、インシデントに対する具体的かつ測定可能な目標を設定することが義務付けられています。これらの目標は、戦略の選択とリソースの戦術的な割り当てを導きます。明確に定義された目標がなければ、対応は場当たりの混乱を招き、様々な機関が互いに矛盾する目的で活動する可能性があります。

インシデント対応計画プロセス (計画P)は、目標管理を促進するために特別に設計されています。各運用期間について、指揮スタッフは現状を確認し、達成すべき事項 (例:「18:00までにセクターAでの搜索救助を完了する」)を特定し、これらをICSフォーム202 (インシデント目標)に文書化します。これにより、最前線からEOCまでのすべての対応者が任務の優先事項を理解することが保証されます。共通用語 (オプションC)と組織リソース (オプションA)は重要なNIMS原則ですが、これらは対応のための構造的な「サポート」です。

「目標管理」とは、すべての行動が目的を持ち、整合性が取れていることを保証することで、「適切な対応」を実際に導くものである。

CEDPの専門家にとって、目標管理を習得することは、高機能なインシデント管理チームの証です。目標管理は、あらゆるリソース要求を特定の目標に直接結び付けることで、説明責任とリソース管理を可能にします。現在割り当てられているリソースでは目標を達成できない場合、IAPプロセスは追加のリソースを発注したり、戦略を調整したりする仕組みを提供します。この体系的なアプローチにより、対応が先を見越したものとなり、インシデントコマンドが「インシデントに先手を打つ」ことで、最大限の効率で安定化と復旧へと進むことができます。

最新問題: 50

国土安全保障省 (DHS)は、州がNIMS (国家インシデント管理システム)を遵守することを確実にするための標準策定において、どのような指針を用いているのでしょうか？

- A. 国家対応枠組み
- B. FEMAの中核機能一覧
- C. 大統領国土安全保障指令

Answer: ([解答を表示する](#))

国土安全保障省 (DHS)は、国家インシデント管理システム (NIMS)への州および地方自治体の準拠を確保するための法的根拠として、大統領国土安全保障指令 (HSPD)を活用して

います。具体的には、HSPD-5（国内事案の管理）は、NIMSの策定を命じ、すべての連邦省庁および機関によるNIMSの採用を義務付けた指令です。さらに重要なことに、この指令は、州、部族、および地方自治体が連邦政府の防災補助金や契約を受けるための要件として、NIMSの採用を義務付けました。

国家対応枠組み オプションA)は対応の「方法」を示し、FEMAコア能力 オプションB)は目標の「内容」を示すが、遵守の「権限」を与えるのはHSPD-5 および後のPPD-8)である。国土安全保障省 (DHS)は、NIMS実施支援プログラムを通じてこの遵守状況を監視しており、同プログラムでは、管轄区域に対し、標準化されたICS訓練、相互運用可能な通信、および資源管理プロトコルの導入状況を報告することを義務付けている。

CEDP専門家にとって、これはNIMSシステムの「実効性」を担う部分です。州がこれらの大統領指令に定められた基準を遵守しない場合、FEMAからの数百万ドルに及ぶ補助金を失うリスクがあります。

これにより、国家的な災害が発生した際に、最高レベルの行政機関の指示に従い、すべての対応機関が「同じ言語」で意思疎通を図り、同じ組織図を使用することが保証されます。したがって、これらの指令は、災害対応における国家的な統一性を確保するための指針となるものです。

最新問題: 51

配管システムの識別色の中で、可燃性物質を示す色はどれですか？

- A. 黄色の背景に黒文字
- B. オレンジ色の背景に黒文字
- C. 赤い背景に白い文字

Answer: A (メッセージを残す)

米国における配管システムの識別に関する普遍的な規格は、ANSI/ASME A13です。

1. 規格。この規格によれば、可燃性流体およびガス（蒸気または引火性のある蒸気を発生する物質）を含む配管には、黄色の背景に黒色の文字でラベルを貼付しなければなりません。この特定の色の組み合わせは、視認性が高く、配管内の高エネルギーの危険性について従業員、請負業者、および緊急対応要員に即座に警告を発するように設計されています。標準規格に含まれるその他の色は、それぞれ異なる機能を果たします。

* 赤地に白 (オプションC) スプリンクラー用の水やハロンなどの消火物質用に予約されています。

* 黒地にオレンジ (オプションB)：有毒および腐食性液体に使用されます。

* 白地に緑：飲料水、冷却水、またはボイラー給水に使用されます。

* 白地に青：圧縮空気用

* 茶色地に白：可燃性液体（引火性可燃物よりも高いもの）に使用されます。

災害管理や危険物対応において、これらのカラーコードは現場状況把握の重要な要素です。対応者が損傷した産業施設に入ると、配管ラベルが爆発や有毒物質の危険性に関する最初の手がかりとなります。黄色のラベルは、配管が破損した場合に火花や熱源によって火災や爆発が発生する可能性があることを示しています。CEDPカリキュラムでは、識別

は安全の第一歩」であることを強調しています。ANSI/ASME A13.1規格に従うことで、施設は「ビジュアルライフサイクル」を標準化し、緊急時やメンテナンス作業中に作業員や対応者が誤ってバルブを開けたり、高圧の可燃性配管を誤って切断したりする可能性を低減できます。

最新問題: 52

複数のICS（インシデント・コマンド・システム）運用を監督する組織構造はどのようなものか？

- A. エリアコマンド
- B. 統合コマンド
- C. 国家司令部

Answer: A (メッセージを残す)

国家インシデント管理システム（NIMS）では、エリアコマンドは、それぞれ別のインシデントコマンドシステム（ICS）組織によって処理されている複数のインシデントの管理を監督するために設立された組織です。また、複数のインシデント管理チーム（IMT）が割り当てられている単一の非常に大規模または複雑なインシデントの管理にも使用できます。エリアコマンドは、

事件の「戦術」ではなく、高レベルの戦略目標と希少資源の配分に焦点を当てている。

エリアコマンドは通常、次のような場合に発動されます。

* 複数の事案が近接した場所で発生し、同じ重要な資源を奪い合っている（例1つの郡で複数の大規模な山火が発生している）。

* インシデントは統合指揮系統によって管理されていません（例それぞれ独自のインシデント担当者がいる個別のインシデント）。

エリアコマンドと統合コマンド（オプションB）を区別することが重要です。統合コマンドは、複数の機関（消防、警察など）が管轄権を持つ単一のインシデント内で使用され、1つのインシデントコマンドポストで協力して1つの計画を作成します。一方、エリアコマンドは、個々のインシデントコマンドの上位に位置します。国家コマンド（オプションC）は、正式なNIMS/ICS用語ではありません。連邦レベルでの同等のものは、国家対応調整センター（NRCC）です。

CEDP専門家にとって、エリアコマンドは複数機関連携（MAC）に使用されるツールです。エリアコマンド（または統合エリアコマンド）は、「包括的な」優先順位を設定する責任を負い、例えば、利用可能な唯一の大型ヘリコプターをどの事案に割り当てるかを決定します。これにより、対応が地理的にも戦略的にも調整され、個々の事案指揮官が同じリソースをめぐって互いに競合することを防ぎ、地域全体で最も重要な人命安全ニーズが確実に満たされるようになります。

「エリア」が最初に扱われます。

最新問題: 53

計画の同期化の取り組みにほとんど貢献しない懸念事項や概念は何ですか？

- A. 決議
- B. 時間
- C. スペース

Answer: A (メッセージを残す)

計画同期の方法論、特に連邦機関間運用計画 (FIOP) およびCPG 101においては、リソースとアクションを同期するために使用される主要な次元は時間と空間である。

同期とは、最も効果的な結果を得るために、特定の時間と場所で行動が実行されるよう手配するプロセスです。例えば、ハリケーン対応においては、同期によって、捜索救助隊（空間）が嵐の通過後（時間）にすぐ到着し、その後すぐに救護活動や電力復旧のための資機材が到着することが保証されます。

時間 オプションB)は、緊急事態管理者がボトルネックを防ぐために一連の出来事とタスクの所要時間を理解する必要があるため、同期化の重要な要素です。空間 オプションC)も同様に重要であり、混雑を引き起こしたり他の業務を妨げたりすることなく、最も必要とされる場所にリソースを配置できるようにするための地理的なリソース配分に関わります。

解像度 オプションA)は、地理情報システム (GIS)やデータ分析において地図や画像の詳細度を表すためによく用いられる技術用語ですが、実際の運用活動の同期にはほとんど貢献しません。高解像度は危険箇所の特定には役立つかもしれませんが、複数の機関がいつ、どこに「現場に人員を投入するか」の調整を決定づけるものではありません。CEDPカリキュラムの文脈では、計画の同期とは「努力の調和」を意味します。それは対応の「いつ」と「どこで」に焦点を当てています。

時間的にも空間的にも同期していない計画は、場当たりの対応につながり、人命救助における「ゴールデンアワー」を無駄にしてしまう。したがって、情報管理フェーズにおいて明確な全体像を把握するために解像度は重要ではあるが、同期プロセス自体の中核的な要素ではない。効果的な同期とは、「テール」(ロジスティクス)が「ヘッス」(オペレーション)に論理的、地理的、時間的な流れで追随し、インシデントコマンドシステム全体の効率を最大化することを保証するものである。

最新問題: 54

生命または健康に即時の危険 (IDLH) をもたらす危険区域での作業において、保護性能と着用者の柔軟性を両立させる呼吸用保護具はどれですか？

- A. 空気浄化式呼吸器
- B. ライン供給式呼吸器
- C. 自給式呼吸器

Answer: C (メッセージを残す)

自給式呼吸器 (SCBA)は、生命または健康に即時危険を及ぼす環境 (IDLH環境)における呼吸保護のゴールドスタンダードです。SCBAは、着用者の柔軟性を最大限に維持しながら、最高レベルの保護を提供します。空気浄化式呼吸器 オプションA)は、使用者周辺の空気の

みをろ過し、酸素欠乏または高毒性のIDLH環境では使用できませんが、SCBAはグレードDの呼吸用空気を完全に独立して供給します。

ライン式送気式呼吸器 (SAR) (オプションB) も清浄な空気を供給しますが、着用者がホース (通常100フィートに制限) で固定された空気源に「繋がれている」ため、柔軟性が著しく制限されます。ホースが絡まったり、折れ曲がったり、切断されたりすると、着用者は即座に危険にさらされます。SCBAを使用すれば、救助隊員は、倒壊した建物や危険な化学物質倉庫など、複雑な災害環境を、ホースに縛られることなく自由に移動できます。

OSHA 29 CFR 1910.134およびNFPA 1981によれば、未知の雰囲気、またはIDLHレベルを超える毒性物質の濃度を含む雰囲気では、全面マスク式の陽圧式SCBA、または補助的な自給式空気供給装置 (脱出ボトル) を備えたSARの組み合わせのいずれかが必要で

す。CEDPの専門家にとって、適切な個人用保護具 (PPE) を選択することは、生命の安全に関する重要な決定です。SCBAは、救助者が汚染された周囲の空気を吸い込まないようにしながら、積極的な搜索救助や消火に必要な機動性を提供する唯一の選択肢です。この「自給式」の性質により、危険が予測できない動的な緊急作戦に必要な戦術的な柔軟性が提供されます。

Valid CEDP Dumps shared by GoShiken.com for Helping Passing CEDP Exam!

GoShiken.com now offer the **newest CEDP exam dumps**, the GoShiken.com CEDP exam **questions have been updated** and **answers have been corrected** get the **newest** GoShiken.com CEDP dumps with Test Engine here:

<https://www.goshiken.com/IBFCSM/CEDP-mondaishu.html> (148 Q&As Dumps,

30%OFF Special Discount: Freepdfdumps)